WEBGUARDIAN

バージョンアップの手引き

キヤノンＩＴソリューションズ株式会社

* Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Copyright©2013 Canon IT Solutions Inc.
本マニュアルの一部あるいは全部について、キヤノンＩＴソリューションズ株式会社の事前の承認なく、複製、転載することを禁止します。

http://www.canon-its.co.jp/

2013-Aug-30　*WEBGUARDIAN* V3.7

MEMO

はじめに

本マニュアルでは、*WEBGUARDIAN* を新しいバージョンにアップデートする方法について説明します。

WEBGUARDIAN は Ver3.0 よりシステムが大幅に変更されました。そのため、*WEB-GUARDIAN* Ver3.0 については、*GUARDIAN* 共通インストーラを用いたアップデートが可能ですが、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満については、インストーラによるアップデートには対応していません。本マニュアルでは、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満（及び *URLGUARDIAN*）から *WEBGUARDIAN* Ver3.7 へ移行する手順についても説明します。

(1) 本マニュアルの使い方

本マニュアルは、*GUARDIANSUITE* の操作に必要な情報について説明します。情報管理者は、必ずこのマニュアルをお読みいただいた上で、本システムの運用、設定を行ってください。
以下に、各章の概要を説明します。

Part Ⅰ アップデート編（11 ページ）

GUARDIANSUITE（管理サーバー）や、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 以上を新しいバージョンにアップデートする方法について説明します。
現在 *WEBGUARDIAN* Ver3.0 以上をご利用中の場合は、本パートをご参照ください。

Part Ⅱ 移行編（51 ページ）

WEBGUARDIAN Ver3.0 未満及び *URLGUARDIAN* から、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 への移行について説明します。
現在 *WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満及び *URLGUARDIAN* をご利用中の場合は、本パートをご参照ください。

(2) 表記ルールについて

本マニュアルで使用している表記ルールについて説明します。

書体について

画面やファイル中のテキストは枠で囲い、以下のような書体で記述します。

書体	意味	使用例
あいう ABCabc123	画面上のコンピュータ出力	GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
あいう ABCabc123	ユーザーが入力する文字	# mv /usr/sbin/sendmail /usr/sbin/sendmail.OFF
あいう *ABCabc123*	コマンド行の可変部分	# rm filename # rm < **ファイル** >
あいう ABCabc123	ファイルやシステム中のテキスト	Top 5 **合計メール数順** (total: 64)

マークについて

本システムを安全にご使用いただくため、守っていただきたい事項に次のマークを使用しています。必ずお読みください。

マーク	意味
	注意： システムの停止やデータの消去など、重大なトラブルを発生させる可能性があることを示しています。十分注意してください。
	情報： 操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

記号について

本マニュアルでは以下のような記号を使用しています。

記号	意味	使用例
『』	参照するマニュアル名を表します。 ※ただし、同じマニュアル内では省略します。	・『**利用の手引き**』の「**1-1 機能**」(**22 ページ**) をご参照ください。 ・「**新規インストール**」を選択します。 ・MTA (Mail Transfer Agent)
「」	参照する章、節の番号と名称、 または、システム内のメニュー、項目、値、強調する語等を表します。	
()	ページ番号、または、補足内容を表します。	
[]	システム中のボタン名、リンク名等を表します。	・[**設定**] ボタンをクリックします。
【】	システム内のトップレベルメニュー、 タブメニュー名を表します。	・「**状況確認**」-【**稼動状況**】
\	画面例などで、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	・Enter your domain name \ [your.domain]: example.co.jp

設定例について

本マニュアルに記載されている IP アドレスやドメイン名、URL アドレスなどの設定例は、説明のためのものです。実際はそれぞれの環境に合わせた設定を行ってください。

目次

Part Ⅰ アップデート編 11

1 アップデートの前に 12

2 ログイン 14

3 アップデート 16
3-1 製品の選択 16
3-2 管理サーバーのインストール 17
3-2-1 管理サーバーのインストールメニュー 18
3-2-2 インストール先ディレクトリ容量確認 18
3-2-3 インストール一時ディレクトリ容量確認 19
3-2-4 パッケージ確認 19
3-2-5 サービスの停止 20
3-2-6 パッケージの削除とインストール 21
3-2-7 データベースディレクトリの指定 22
3-2-8 管理サーバーの起動 23
3-2-10 インストールメニューの終了 24
3-3 検査サーバーのインストール 25
3-3-1 検査サーバーのインストールメニュー 25
3-3-2 インストール先ディレクトリ容量確認 26
3-3-3 インストール一時ディレクトリ容量確認 27
3-3-4 パッケージ確認 27
3-3-5 サービスの停止 28
3-3-6 パッケージの削除とインストール 29
3-3-7 管理サーバーの起動 30
3-3-8 インストール完了 31
3-3-9 インストールメニューの終了 32

3-4 管理＋検査サーバーのインストール..... 33
3-4-1 管理＋検査サーバーのインストールメニュー..... 34
3-4-2 インストール先ディレクトリ容量確認..... 34
3-4-3 インストール一時ディレクトリ容量確認..... 35
3-4-4 パッケージ確認..... 35
3-4-5 サービスの停止..... 36
3-4-6 パッケージの削除とインストール..... 37
3-4-7 データベースディレクトリの指定..... 38
3-4-8 管理＋検査サーバーの起動..... 39
3-4-9 インストール完了..... 40
3-4-10 インストールメニューの終了..... 41

4 動作確認..... 42
4-1 管理サーバーへのバージョンアップの場合..... 42
4-2 検査サーバーへのバージョンアップの場合..... 43
4-3 管理＋検査サーバーへのバージョンアップの場合..... 44

5 アップデート時の注意点..... 46
5-1 /var について..... 46
5-2 /opt 等がリンクの場合..... 46
5-3 設定ファイルのバックアップについて..... 46
5-4 評価用ライセンスでのアップデートについて..... 46
5-5 複数台の検査サーバーを管理する管理サーバーになる場合..... 46
5-6 検索条件グループ指定について..... 46
5-7 各種保存ディレクトリ設定値に関する注意事項..... 47
5-8 カーネルチューニング..... 49
5-9 最大同時接続数について..... 50
5-10 cron について..... 50
5-11 ネットワーク設定に関する注意事項..... 50

Part Ⅱ 移行編 51

6 旧システムをご利用のお客様へ 52

7 新バージョンへ移行するための準備 54
7-1 サーバー構成プラン 54
7-2 管理者の役割分担 54
7-3 管理者のメールアドレス 55
7-4 ネットワークの設定 57
7-5 システムの設定 60

8 インストール・設定 64
8-1 インストール 64
8-2 設定 64

9 ルールの設定（旧 *WEBGUARDIAN* をご利用のお客様へ） 72
9-1 *WEBGUARDIAN* Ver3.7 でのルール記述 72
9-2 旧 *WEBGUARDIAN* のルールを Ver3.7 に適合するには 75

10 ルールの設定（*URLGUARDIAN* をご利用のお客様へ） 86
10-1 *WEBGUARDIAN* Ver3.7 でのルール記述 86
10-2 *URLGUARDIAN* のルールを Ver3.7 に適合するには 86

11 ログ閲覧に関して 104
11-1 旧システムのログ閲覧 104
11-2 バージョンアップ時の制約事項 105
11-3 旧システムの提供情報を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 で確認するには 105

12 その他 112
12-1 ライセンス 112
12-2 URLDB ライセンス 112
12-3 *URLGUARDIAN* レポートサーバーのアンインストール 112

Appendix 114

MEMO

Part Ⅰ アップデート編

1 アップデートの前に

アップデートを行う前に、必ず稼働中の *WEBGUARDIAN* を停止してください。
アップデートを実施しますと、既存のバージョンに上書きインストールされますので、既存のバージョンのシステムをアンインストールする必要はありません。
※既存の各種設定やログは、アップデート後もそのまま保持されます。

既存のシステムを停止したら、以下の手順に従ってシステムアップデートを行ってください。

1. ログイン
↓
2. アップデート
↓
3. 動作確認

MEMO

2 ログイン

コンソールより、root でログインします。
WEBGUARDIAN Ver3.7 の CD-ROM をドライブにセットし、マウントします。
通常は CD-ROM をドライブにセットすると自動的に /cdrom 以下にマウントされます。
CD-ROM のディレクトリに移動し、以下の inst コマンドを実行します。

```
# cd /cdrom/webguardian
# sh inst
```

※上記の /cdrom/webguardian は一例ですので、お使いの環境に合わせて変更してください。

お客様のプラットホームに合った、パッケージが自動的に選択され、次章「**3 アップデート**」に移ります。

MEMO

3 アップデート

3-1 製品の選択

ここから、*GUARDIAN* 共通インストーラによる、アップデートとなります。
（LANG ja での画面です）

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。（規定値：[Q]uit）

入力：■
```

インストーラが起動し、インストール可能なアプリケーションが表示されます。
アップデートするアプリケーションの番号を選択入力します。

3-2 管理サーバーのインストール

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)

入力：■
```

上記メニューから「1. GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6」を選択します。

3-2-1 管理サーバーのインストールメニュー

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

GUARDIANSUITE（管理サーバー）のインストール

    1.  新規インストール
    2.  アップグレードインストール
    3.  アンインストール
    B.  戻る

実行したい項目の番号を入力してください。（規定値：[B]ack）

入力：■
```

「2. アップグレードインストール」を選択します。

3-2-2 インストール先ディレクトリ容量確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  インストールに必要なディレクトリ情報...

      ディレクトリ名     ： /opt
      必須ディスク容量   ： 1024MB
      現在の空き容量     ： 2173MB

      このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

管理サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。

3-2-3 インストール一時ディレクトリ容量確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  インストールに必要なディレクトリ情報...

      ディレクトリ名     : /var
      必須ディスク容量   : 100MB
      推奨ディスク容量   : 2048MB
      現在の空き容量     : 710MB

      このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

管理サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※ /var は、インストール時の一時領域として使用されます。

3-2-4 パッケージ確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  以下のパッケージが更新されます。
      GRDNcore        : GUARDIANSUTE Core Package V4.6.00-000
      GRDNlocal       : GUARDIANSUTE Tools Package V2.1.04-000
      GRDNadmin       : GUARDIANSUTE Admin Package V4.6.00-000
      GRDNdb          : GUARDIANSUTE Database Package V8.1.23-000

インストールを続行しますか？ [y/n] ■
```

更新されるパッケージが表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

3-2-5 サービスの停止

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの停止



GUARDIANSUITE 管理サーバーを停止しています... ■
```

管理サーバーが稼働中のまま、アップデート作業を実施されている場合は、ここでサービスが停止されます。

3-2-6 パッケージの削除とインストール

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

0% ************************************------- 100%

パッケージ<GRDNadmin>を削除しています...
```

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

0% ******************************------------- 100%

パッケージ<GRDNadmin>をインストールしています...
```

旧システムのパッケージが削除され、新バージョンのパッケージが導入されます。
※追加されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

3-2-7 データベースディレクトリの指定

この項での記述は、*GUARDIANSUITE*（管理サーバー）Ver3.0 からアップグレードする際に実施する操作です。それ以外のバージョンからアップグレードを実施している場合は、次ページ以降をご覧ください。

GUARDIANSUITE（管理サーバー）Ver4.0 から、データベースを利用するようになりました。インストール時に、このデータベースを格納するディレクトリを指定しなければなりません。

※データベースディレクトリは、後から変更することができません。空き容量に十分余裕のある領域をあらかじめ準備しておいてください。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

初期設定を開始します...


DatabaseDirectory     : /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/




ＤＢディレクトリを入力してください [/var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/]

入力：■
```

ディレクトリのパスを入力します。
内容を確認後、「y」を入力します。
その後、データベースを構築し、サービスを起動します。

3-2-8 管理サーバーの起動

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.
アップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動




GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています... ■
入力：y
```

パッケージの導入が全て完了すると、上記のとおり管理サーバーが起動されます。

3-2-9 インストール完了

サービスが起動すると、管理者ページの URL が表示されます。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.
アップグレードインストール


  ##########################################################
    GUARDIANSUITE V4.6 のインストールは成功しました。
    管理者ページの URL http://192.168.0.1:8080/login/
  ##########################################################




何かキーを押してください...：■
```

確認後、任意のキーを入力してください。
（上記 URL は動作確認に使用しますので控えておいてください）
※画面に表示されている URL は一例となります。

3-2-10 インストールメニューの終了

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)

入力：■
```

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

3-3 検査サーバーのインストール

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)
入力：■
```

上記メニューから「2. WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7」を選択します。

3-3-1 検査サーバーのインストールメニュー

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.
WEBGUARDIAN（検査サーバー）のインストール

    1.  新規インストール
    2.  アップグレードインストール
    3.  アンインストール
    B.  戻る

実行したい項目の番号を入力してください。(規定値：[B]ack)
入力：■
```

「2. アップグレードインストール」を選択します。

3-3-2 インストール先ディレクトリ容量確認

アップグレードインストールが選択され、検査サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  インストールに必要なディレクトリ情報...

      ディレクトリ名     : /opt
      必須ディスク容量   : 1024MB
      現在の空き容量     : 2147MB

      このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

内容を確認後、「y」を入力します。

3-3-3 インストール一時ディレクトリ容量確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  インストールに必要なディレクトリ情報...

      ディレクトリ名     : /var
      必須ディスク容量   : 100MB
      推奨ディスク容量   : 2048MB
      現在の空き容量     : 710MB

      このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

検査サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※ /var は、インストール時の一時領域として使用されます。

3-3-4 パッケージ確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  以下のパッケージが更新されます。
      GRDNwg            : WEBGUARDIAN V3.7.00-000

インストールを続行しますか？ [y/n] ■
```

更新されるパッケージが表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

3-3-5 サービスの停止

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

WEBGUARDIAN Proxy サービスの停止



WEBGUARDIAN Proxy サービスを停止しています... ■
```

WEBGUARDIAN が稼働中のまま、アップデート作業を実施されている場合は、ここでービスが停止されます。

3-3-6 パッケージの削除とインストール

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

        0% ************************************-------- 100%

パッケージ<GRDNwg> を削除しています...
```

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

        0% ******************************--------------- 100%

パッケージ<GRDNwg> をインストールしています...
```

旧システムのパッケージが削除され、新バージョンのパッケージが導入されます。
※ 追加されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

3-3-7 管理サーバーの起動

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動



GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています... ■

入力：y
```

パッケージの導入が全て完了すると、上記のとおり、検査サーバーに含まれる管理サーバーと通信するための管理サーバーが起動されます。
なお、すでに管理サーバーに登録されている検査サーバーの場合は、*WEBGUARDIAN* サービスも起動されます。それ以外の場合は、管理サーバーへの登録時に *WEBGUARDIAN* サービスが起動されます。

3-3-8 インストール完了

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール


  ##############################################################
     WEBGUARDIAN V3.7 のインストールは成功しました。

     Proxy サーバーの IP アドレス : 192.168.0.1   ポート番号 : 1088

     管理サーバーの画面から、この検査サーバーを追加登録してください。
  ##############################################################




何かキーを押してください . . . : ■
```

すでに管理サーバーに登録されている検査サーバーの場合は、上記のような検査サーバーの追加登録を求めるメッセージは表示されません。それ以外の場合は、メッセージどおり、検査サーバーを管理サーバーに追加登録してください。
確認後、任意のキーを入力してください。
※画面表示は一例となります。

3-3-9 インストールメニューの終了

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)

入力：■
```

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

3-4 管理＋検査サーバーのインストール

管理＋検査サーバーへは、既存のシステムが、*GUARDIANSUITE*（管理サーバー）Ver3.0 以上と *WEBGUARDIAN* Ver3.0 以上が同一筐体に導入されている場合のみアップデートすることが可能です。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)
入力：■
```

上記メニューから「3. WG（検査サーバー） V3.7 plus SUITE（管理サーバー） V4.6」を選択します。

3-4-1 管理＋検査サーバーのインストールメニュー

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

WEBGUARDIAN（検査サーバー）と管理サーバーのインストール

        1.  新規インストール
        2.  アップグレードインストール
        3.  アンインストール
        B.  戻る

実行したい項目の番号を入力してください。(規定値：[B]ack)

入力：■
```

「2. アップグレードインストール」を選択します。

3-4-2 インストール先ディレクトリ容量確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

  インストールに必要なディレクトリ情報...

      ディレクトリ名     ： /opt
      必須ディスク容量   ： 1024MB
      現在の空き容量     ： 2173MB

      このディレクトリにパッケージがインストールされます。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

アップグレードインストールが選択され、管理＋検査サーバーがインストールされる領域である、/opt の容量が表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。

3-4-3 インストール一時ディレクトリ容量確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

インストールに必要なディレクトリ情報...

    ディレクトリ名     : /var
    必須ディスク容量   : 100MB
    推奨ディスク容量   : 2048MB
    現在の空き容量     : 710MB

    このディレクトリを作業領域として使用します。

システム環境をチェックしています...

続行しますか？ [y/n] ■
```

管理＋検査サーバーのパッケージを展開する領域である、/var の容量が表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※ /var は、インストール時の一時領域として使用されます。

3-4-4 パッケージ確認

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

以下のパッケージが更新されます。
    GRDNcore        : GUARDIANSUTE Core Package V4.6.00-000
    GRDNlocal       : GUARDIANSUTE Tools Package V2.1.04-000
    GRDNwg          : WEBGUARDIAN V3.7.00-000
    GRDNadmin       : GUARDIANSUTE Admin Package V4.6.00-000
    GRDNdb          : GUARDIANSUTE Database Package V8.1.23-000

インストールを続行しますか？ [y/n] ■
```

更新されるパッケージが表示されます。
内容を確認後、「y」を入力します。
※上記表示パッケージとそのバージョンは一例となります。

3-4-5 サービスの停止

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

WEBGUARDIAN Proxy サービスの停止



WEBGUARDIAN Proxy サービスを停止しています... ■
```

管理サーバーや *WEBGUARDIAN* が稼働中のまま、アップデート作業を実施されている場合は、ここでサービスが停止されます。

3-4-6 パッケージの削除とインストール

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

0% ************************************------- 100%

パッケージ<GRDNadmin>を削除しています...
```

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

0% ****************************-------------- 100%

パッケージ<GRDNwg>をインストールしています...
```

旧システムのパッケージが削除され、新バージョンのパッケージが導入されます。
※追加されるパッケージに表示されていたパッケージが導入されます。

3-4-7 データベースディレクトリの指定

この項での記述は、*GUARDIANSUITE*（管理サーバー）Ver3.0 からアップグレードする際に実施する操作です。それ以外のバージョンからアップグレードを実施している場合は、次ページ以降をご覧ください。

GUARDIANSUITE（管理サーバー）Ver4.0 から、データベースを利用するようになりました。インストール時に、このデータベースを格納するディレクトリを指定しなければなりません。

※データベースディレクトリは、後から変更することができません。空き容量に十分余裕のある領域をあらかじめ準備しておいてください。

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.
アップグレードインストール

初期設定を開始します...


DatabaseDirectory     : /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/




ＤＢディレクトリを入力してください [/var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql/]
入力：■
```

ディレクトリのパスを入力します。
内容を確認後、「y」を入力します。
その後、データベースを構築し、サービスを起動します。

3-4-8 管理＋検査サーバーの起動

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

GUARDIANSUITE 管理サーバーの起動

GUARDIANSUITE 管理サーバーを起動しています... ■

入力：y
```

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

アップグレードインストール

WEBGUARDIAN Proxy サービスの起動

WEBGUARDIAN Proxy サービスを起動しています... ■

入力：y
```

パッケージの導入が全て完了すると、管理サーバー、検査サーバーがそれぞれ起動されます。

3-4-9 インストール完了

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux 版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

新規インストール

  ##############################################################
     WEBGUARDIAN V3.7 のインストールは成功しました。
     GUARDIANSUITE V4.6 のインストールは成功しました。

     管理者ページの URL http://192.168.0.1:8080/login/
     Proxy サーバーの IP アドレス : 192.168.0.1  ポート番号 : 1088
  ##############################################################

何かキーを押してください . . . : ■
```

サービスが起動すると、管理者ページの URL が表示されます。
確認後、任意のキーを入力してください。
(上記 URL は動作確認に使用しますので控えておいてください)
※画面に表示されている URL は一例となります。

3-4-10 インストールメニューの終了

```
GUARDIANSUITE インストーラ Linux版
Copyright (c) 2013 Canon IT Solutions Inc.

    1.  GUARDIANSUITE（管理サーバー）V4.6
    2.  WEBGUARDIAN（検査サーバー）V3.7
    3.  WG（検査サーバー）V3.7 plus SUITE（管理サーバー）V4.6
    Q.  終了

製品の番号を入力してください。(規定値：[Q]uit)
入力：■
```

インストールメニューに戻りますので、「q」を入力し、インストーラを終了してください。

4 動作確認

インストール終了後ウェブブラウザーにて管理サーバーの URL に接続し以下の項目をご確認ください。

4-1 管理サーバーへのバージョンアップの場合

(1) 管理画面へアクセスが可能なこと。

(2) 既存のアカウントで管理者ログインできること。

(3) **【共通】-「管理サーバー管理」-「状況確認」-「稼動状況」**で「**httpd**」と「**postmaster**」プロセスが起動していること。

■ 稼動状況

プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
httpd	12826	5957	17296	11568	100	RT
httpd	12827	5957	16784	11240	100	RT
httpd	12828	5957	16536	10880	100	RT
httpd	12829	5957	17032	11456	100	RT
httpd	12830	5957	16696	11072	100	RT
httpd	14432	5957	17360	11608	100	RT
httpd	14446	5957	15744	10136	100	RT
httpd	25153	5957	15768	10160	100	RT
httpd	5957	1	11216	6352	100	RT
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7324	1	19080	13592	58	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7325	7324	6784	1544	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7327	7324	19120	12864	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7328	7324	7784	2520	59	20
postmaster -D /var/opt/Guardian/Admin/database/pgsql -S	7329	7328	7008	1816	59	20

- PID: プロセスID、PPID: 親プロセスのプロセスID
- VSZ: 仮想記憶中のプロセスの合計サイズ、RSS: プロセスの常駐セットサイズ
- PRI: プロセスの優先順位、NICE: プロセスのシステムスケジューリング優先順位

※上記画面は一例です。

以上で、アップデート作業は終了です。

4-2 検査サーバーへのバージョンアップの場合

(1) 管理サーバーと通信するための管理サーバーが起動していること。

※コマンドラインから ps コマンドで確認。

```
#
# ps -ef | grep httpd
  nobody 28886 28881  0 19:28:00 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
  nobody 28903 28881  0 19:28:05 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
  nobody 28883 28881  0 19:28:00 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
  nobody 28884 28881  0 19:28:00 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
  nobody 28885 28881  0 19:28:00 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
    root 28881     1  1 19:27:59 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
  nobody 28882 28881  1 19:28:00 ?        0:00 /opt/Guardian/Admin/httpd/bin/httpd
#
```

※上記画面は一例です。

以上で、アップデート作業は終了です。

4-3 管理＋検査サーバーへのバージョンアップの場合

(1) 管理画面へアクセスが可能なこと。

(2) 既存のアカウントで管理者ログインできること。

(3)【共通】-「管理サーバー管理」-「状況確認」-「稼動状況」で「httpd」と「postmaster」プロセスが起動していること。

※前述の「4-1 (3)」と同様の確認になります。

(4)【共通】-「検査サーバー管理」-「状況確認」-「詳細」-「稼動状況」で状態が「稼動中」であること。

■ 稼動状況

状態	稼動中

■ URLDB更新状況

状態	DBバージョン	操作
待機中	2006/08/08版	今すぐ更新

■ プロセス一覧

プロセス	PID	PPID	VSZ(KB)	RSS(KB)	PRI	NICE
urldb_manager	11571	27826	49160	47976	50	20
urldb_manager	27826	1	48976	2112	58	20
httpd	27839	1	6744	3384	59	20
wglogger	27841	27839	1112	888	0	20
wglogger	27842	27839	1088	728	0	20
wglogger	27843	27839	1088	728	0	20
wglogger	27844	27839	1088	728	0	20
wglogger	27845	27839	1088	728	0	20
wglogger	27846	27839	1088	728	0	20
wglogger	27847	27839	1088	728	0	20

※上記画面は一例です。

MEMO

5 アップデート時の注意点

5-1 /var について

/var 領域は、インストール時にパッケージ展開領域として使用されますので、インストール作業用に必要な空き容量を確保してください。

5-2 /opt 等がリンクの場合

/opt 領域は、*WEBGUARDIAN* がインストールされる領域ですが、/opt がシンボリックリンクの場合や、/opt に *WEBGUARDIAN* を導入後、別ディレクトリに移動した場合は、インストールに失敗する可能性があり、動作保証をいたしかねますので、ご注意ください。

5-3 設定ファイルのバックアップについて

WEBGUARDIAN では、アップデート時に、既存バージョンの設定ファイルのバックアップを実施しています。
/opt/Guardian/backup へバックアップが実施されますので、ご確認ください。

5-4 評価用ライセンスでのアップデートについて

WEBGUARDIAN では、評価用ライセンスに制限を設けており、通常の評価用ライセンスではアップデートは実施できません。
検証等で、評価版を用いアップデートを試される場合は、バージョンアップが可能な評価用のライセンスを発行しますので、サポート窓口までご連絡ください。

5-5 複数台の検査サーバーを管理する管理サーバーになる場合

検査サーバーのログ保存ディレクトリと、管理サーバーのウェブログ保存ディレクトリは、それぞれ別のディレクトリを必ず指定ください。

5-6 検索条件グループ指定について

GUARDIANSUITE（管理サーバー）Ver4.1 より、*WEBGUARDIAN* の各種ログ閲覧、統計情報画面の検索条件指定で、グループ指定部に選択可能なグループが以下のように変更されています。

（*GUARDIANSUITE* Ver4.0 以前）
　登録済の全グループを選択可能

（*GUARDIANSUITE* Ver4.1 以降）
情報管理者 / 部門情報管理者ごとに、選択可能なグループを以下のいずれかに設定可能
・なし（デフォルト）
・登録済の全グループを選択可能にする
・指定したグループだけを選択可能にする

GUARDIANSUITE Ver4.0 以前からのアップデートでは、各情報管理者 / 部門情報管理者に対して登録済の全グループを選択可能とする設定が行われ、旧バージョンの動作が引き継がれます。ただし、アップデート後に新規に登録する情報管理者 / 部門情報管理者については、デフォルトではグループ選択不可となります。
検索条件グループ指定の設定変更方法については、『**管理サーバー　利用の手引き　～*GUARDIANWALL*、*WEBGUADIAN* 共通～**』の「**6-2-1-4 情報管理者の権限リスト**」（395 ページ）、「**6-2-1-5 部門情報管理者の権限リスト**」（407 ページ）をご参照ください。

5-7 各種保存ディレクトリ設定値に関する注意事項

ログデータの保存領域に関する設定は、それぞれ管理サーバーと検査サーバーにあります。
・ウェブログ保存ディレクトリ

これらの設定値は、基本的に管理サーバーと検査サーバーで、それぞれ別のディレクトリを設定してください。
ただ例外的に検査サーバーが 1 つしか存在せず、かつ管理サーバーと検査サーバーを同一筐体で稼働させる場合には、同じ設定にすることができます。
ただし、この場合はログ収集を行わないようにしてください。
管理サーバーと検査サーバーが同一筐体で稼働し、ディレクトリ設定が同じであった場合にログ収集処理を行うと、保存されているデータが欠損する可能性があります。

【アップグレード後の管理サーバー設定値確認】

管理サーバーをバージョンアップした後、各保存領域とログ収集スケジュールの設定に関し問題がないことを以下の手順で確認してください。

(1) 管理画面にログインし下のページを表示します

【共通】-「検査サーバー管理」-「個別設定」-「ログ収集スケジュール」

(2) 表示したページ上部に設定削除を促すメッセージ（赤字）がないか確認します

例)「プロキシーログ」のスケジュール設定を削除してください。

※括弧「」内は、設定済の項目により異なります。

(3) メッセージがある場合はその指示に従い、その項目のスケジュールを削除してください

5-8 カーネルチューニング

Ver3.0 からアップグレードする場合の注意点を記述します。
本システム（管理サーバー）は、一部のデータ保存用に、データベースソフトウェアの PostgreSQL を利用します。PostgreSQL では OS の共有メモリとセマフォを利用するため、本システムをインストールする前にカーネルの設定値を本システムの PostgreSQL の稼動に必要な値より大きく設定する必要があります。これらの設定が本システムで利用する PostgreSQL が要求する値よりも小さい場合は、本システムのインストール時に行うデータベースの初期化に失敗します。
ご使用する OS の共有メモリやセマフォの設定が以下に示す本システムの稼動に必要な共有メモリとセマフォの値より大きくなるよう設定をしてください。

■ 本システムの稼動に必要な共有メモリとセマフォの設定

名前	説明	稼動に必要な値
SHMMAX	共有メモリセグメントの最大サイズ	16 MB 以上
SEMMNS	システム全体のセマフォの最大数	250 以上

共有メモリとセマフォの設定の確認及び変更方法はご使用の OS のマニュアルをご覧ください。

5-9 最大同時接続数について

Ver3.4 より、*WEBGUARDIAN* の最大同時接続数の上限値が 512 から 20000 に変更されましたが、Ver3.3 以前からのアップデート後に、512 より大きい最大同時接続数を使用するためには、以下の設定変更を行ってください。

(1) /opt/Guardian/WG/conf/urldb_manager.conf を編集し、以下のパラメータの値を変更します。

```
urldb.clients=20000
```

(2) WEBGUARDIAN を再起動し、設定を反映します。

```
# /etc/init.d/Guardian.web stop
# /etc/init.d/Guardian.web start
```

5-10 cron について

WEBGUARDIAN では、アップデート時に、cron の登録内容を編集しています。
/opt/Guardian 以下に独自にコマンドを設置し、cron で実行している場合は、アップグレード後に当該の登録内容が削除される場合がありますので、ご注意ください。

5-11 ネットワーク設定に関する注意事項

WEBGUARDIAN Ver3.3.00 以上では、管理サーバーから検査サーバーへ通信する際の認証処理を強化し、より厳格なチェックを行うようになりました。
そのため、管理サーバー、検査サーバーの構成において、通常のサービス（HTTP）とは別に、データ通信用（管理サーバーが検査サーバーからログ収集する）のセグメントを用意している場合、バージョンアップ後に、管理サーバーから検査サーバーの通信で【接続拒否】となる場合があります。
そのような事象が確認された場合、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIAN-WALL*、*WEBGUADIAN* 共通～』の「14-2 ネットワーク設定に関する注意事項」（501 ページ）を参照して、回避方法を実施してください。

Part Ⅱ 移行編

6 旧システムをご利用のお客様へ

この度は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 をご導入いただき誠にありがとうございます。

WEBGUARDIAN は Ver3.0 より、コアエンジンの変更等によりシステムが大きく変更されております。そのため、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満で登録済の設定やルールを、システム的に引き継ぐことができません。本パートは、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満と類似の動作を実現する設定方法を説明するものです。後述する内容をご参照の上、*WEB-GUARDIAN* Ver3.7 をインストール後に手動で再設定を実施してください。

また、*WEBGUARDIAN* は Ver3.0 より標準で URLDB を搭載しており、URL フィルター機能を実装しております。本パートでは、*URLGUARDIAN* から *WEBGUARDIAN* Ver3.7 への移行方法についても説明します。

以降では、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満及び *URLGUARDIAN* を「旧システム」と表記します。また、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 未満を「旧 *WEBGUARDIAN*」と表記します。

なお、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 以降では、SmartFilter オプションは利用できません。旧 *WEBGUARDIAN* で SmartFilter オプションをご利用のお客様は、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 以降に標準で搭載されている URL フィルター機能をご利用ください。

また、旧システムのログは、*WEBGUARDIAN* Ver3.0 以降では閲覧できません。旧システムのログを閲覧するには、旧システムのレポートサーバーにバックアップしたデータをリストアして閲覧してください（旧システムと *GUARDIANSUITE* Ver3.0 以降は、同一筐体で稼動可能です）。

※旧システムと *WEBGUARDIAN* Ver3.0 以降を同一筐体で稼動させる場合、OS リソースの節約のため、利用しない時は、旧システムのプロセスを停止しておくことをお勧めします。

MEMO

7 新バージョンへ移行するための準備

旧システムをご利用のお客様に *WEBGUARDIAN* Ver3.7 をご利用いただくためには、一部新たな設定・運用方針を策定していただく必要がございます。下記をご参照の上、ご準備ください。

7-1 サーバー構成プラン

旧システムで、フィルタリングサーバー・レポートサーバーとして構成されていたサーバーは、それぞれ検査サーバー・管理サーバー（*SUITE* 共通）と呼び名が一新され、新たな機能を提供します。
構成としては、同一筐体／別筐体のどちらでも稼動します。詳細は、『*WEBGUARDIAN* **導入事前準備**』の**「1-1　プロキシーサーバー構成」（1 ページ）**をご確認の上、別紙の推奨構成スペックを参考にサーバーの構成をご検討ください。

7-2 管理者の役割分担

旧システムから、管理者の種類が変更されています。旧 *WEBGUARDIAN* には、「データ閲覧者」「ポリシー設定者」「運用管理者」「システム管理者」「利用者管理」の 5 種類の管理者が存在しました。また、*URLGUARDIAN* には、「データ閲覧者」「ポリシー設定者」「システム管理者」「利用者管理」の 4 種類の管理者が存在しました。しかし、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では「情報管理者」「部門情報管理者」「システム管理者」「利用者管理」の 4 種類の管理者となります。
旧システムの管理者が、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 ではどの管理者に対応するかは、**「Appendix」（114 ページ）**の対応表をご参照ください。その上で、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 にどの管理者をどのような権限で登録するか決定してください。

<Ver2>		<Ver3>
① データ閲覧者	→	部門情報管理者
② ポリシー設定者	→	情報管理者 (「利用者管理」で編集する ※)
③ 運用管理者	→	情報管理者 (「利用者管理」で編集する ※)
④ システム管理者	→	情報管理者 (「利用者管理」で編集する ※)
⑤ 利用者管理	→	利用者管理

※従来どおり、「利用者管理」以外は、同一管理者を複数アカウント登録することができます。

7-3 管理者のメールアドレス

旧システムでメールを自動的に送信していた条件は、下記のとおりです。その中で、×がついているものは、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 ではメール通知がされなくなっています。

＜フィルタリングサーバー＞
- 設定したキーワードが検出された
- ディスクの空き容量が足りなくなった　⇒ ×※1
- ログ転送に失敗した
- URLDB のカテゴリが変更された

＜レポートサーバー＞
- CSV ダウンロードでメール通知機能を選択　⇒ ×※2
- バックアップ / リストアの完了通知を選択
- ディスクの空き容量が足りなくなった　⇒ ×※1
- 自動索引生成に失敗した

（※1）**「ディスクの空き容量が足りなくなった」**に関しては、Ver3.7 では通知メールは送信しません。
（※2）**「CSV ダウンロードでメール通知機能を選択」**に関しては、機能自体がなくなっているため、メール通知も行われません。

なお、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 で通知メールを送信するアクションとして設定する項目は下記表のとおりです。
これらは、当初、管理サーバーインストール作業中に初期値として指定した 1 つの宛先メールアドレスに送信されます（AdminMailAddress）。インストール作業を実施する前に、この**「AdminMailAddress」**となる宛先メールアドレスを決定してください。
インストール後、「メール通知のアクション」ごとに GUI ベースで通知先を変更できます。こちらは、設定作業までに下記表の「メールアドレス」に値が埋まるようにご準備ください。
※これらのメール通知は、検査／管理サーバー共に MSP（Mail Submission Program）を利用して行われます。
管理画面から、外部 SMTP サーバーを指定すれば、指定のサーバーへ中継されます。
指定がなければ、ローカルホストの 25 番ポートへ配送します。

(1) インストール時

ここで設定したメールアドレスは、管理画面の
【共通】-「管理サーバー管理」-「基本設定」-【管理サーバーパラメータ】の**「管理者メール通知」**に反映されます。

(2) 検査サーバー：全検査サーバー共通

メール通知のアクション	メールアドレス
ルールに該当するリクエストが検出された※	

※ ルールに適合した場合に送信する、通知メールの送信先を 1 つ指定します。
ただし、個々のルールに紐付けて、「代替管理者」のアドレスを設定した場合、そのアドレスにも通知メールを送信できます。

(3) 検査サーバー：検査サーバー個別設定

メール通知のアクション	メールアドレス
URLDB ダウンロード完了通知※	

※ URLDB 更新は、各検査サーバーで個別にスケジュールを組んで行う処理です。
検査サーバーが複数台あれば、それぞれに設定を行います。
完了通知メールも同じく、検査サーバーごとに違うメールアドレスを指定することもできます。

(4) 管理サーバー

メール通知のアクション	メールアドレス
ウェブキャッシュログ作成通知※	

※ウェブキャッシュログは、検索速度を向上させるために、Apache2 が出力したログか
ら加工して作成するログとなります。
ウェブキャッシュログの利用に関する詳細は、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～**』の「**3-4-2-2 サービス利用状況**」(**299 ページ**) をご参照ください。

※ウェブキャッシュログ作成通知以外にも、管理画面の**【共通】**-**「管理サーバー管理」**-**「拡張機能」**-**【スケジューラー】**に登録する各サービスインスタンスから通知メールが送信されます。本マニュアルでは、それらの機能については説明しません。
スケジューラーの各サービスに関する詳細は、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～**』の「**3-2-1-3 拡張機能**」-**【スケジューラー】**(**54 ページ**) をご参照ください。

「ログ転送に失敗した場合」にも通知メールは送信されます。ただし、個別に設定する項目はなく、管理画面の**【共通】**-**「管理サーバー管理」**-**「基本設定」**-**【管理サーバーパラメータ】**の**「管理者メール通知」**に設定されているメールアドレスに通知されます。

手動で行うバックアップ / リストアに対する完了通知メールは、設定として残すものではなく、それぞれの処理を実行する際の条件指定として入力する項目となります。詳細は、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～**』の「**3-2-3 データ管理**」(**97 ページ**) をご参照ください。

7-4 ネットワークの設定

インストール後、検査／管理サーバー共に、下記のようなネットワーク設定を行う必要があります。これらをあらかじめ検討の上、設定作業を実施してください。

(1) 検査サーバー：全検査サーバー共通

全ての検査サーバーに共通のネットワーク設定として、**「プロキシー認証設定」**があります。

プロキシー認証は、**「外部 LDAP サーバー」**及び**「Windows ドメインコントローラ」(NTLM 認証）**と連携して実施することができます。また、独自の認証データベースを利用する**「独自認証」**を使用可能です。

実施の有無は、任意に選択が可能です。実施される場合は、下記表の項目をご確認ください。

項目	設定値
プロキシー認証の実施	オフ / LDAP 認証 / NTLM 認証 / 独自認証

外部 LDAP サーバーは、「LDAP Ver3」をサポートする LDAP アプリケーションとしてください。

項目	設定値
参照 LDAP サーバーの IP アドレスとポート番号	
バインド DN	
バインドパスワード	
検索ベース DN	
検索オブジェクトクラス	
認証名属性	

Windows ドメインコントローラと連携する場合は、下記表の項目をご確認ください。

項目	設定値
Windows ドメイン名	
プライマリドメインコントローラ※	
バックアップドメインコントローラ※	

（※）ドメインコントローラは IP アドレスではなく NetBIOS コンピュータ名で　指定してください。

(2) 検査サーバー：検査サーバー個別設定

項目	設定値
プロキシーサーバーとしてのポート番号	
プロキシーサーバーが受け付ける最大同時接続数 ※1	
親プロキシーサーバー（IP アドレス / ポート番号）※2	
フォワード対象外ホスト指定※2	
DNS サーバー※3	
アクセス許可ホスト※4	
通知メール送信先サーバー※5	

（※1） *WEBGUARDIAN* Ver3.0 より、コアエンジンがこれまでの squid ベースから Apache2 に変更されています。Apache2 は、マルチプロセスにて稼動するため、旧システムよりメモリを多く消費します。そのメモリ消費（プロセスが生成される数）を抑えるのが、**「最大同時接続数」**となりますので、サーバーのリソースに合わせて適切な値としてください。チューニング方法については、**『検査サーバー 利用の手引き ～ *WEBGUARDIAN* V3.7 編（ウェブ）～』**の**「5-1 基本設定」-「(6) 最大同時接続数」（67 ページ）**をご参照ください。

（※2）**「親プロキシーサーバー」**とは、検査サーバーが、HTTP リクエストを中継する上位のプロキシーサーバーのことです。**「IP アドレス」**と**「ポート番号」**を指定してください。

例）192.168.0.2：8080

「フォワード対象外ホスト」とは、上位の親プロキシーサーバーに通信を中継せず、自らがリクエスト先の Web サーバーに接続してリクエストする際のリクエスト先ホストのことです。こちらは、IP アドレス、ネットワークアドレス、ホスト名、ドメイン名を指定可能です。

例）10.1.2.3, 10.1.0.0/16, www.example.com, .example.com

これら 2 項目は、検査サーバーがインターネットに最も近い場所に配置されている場合、設定の必要はありません。

（※3）**「DNS サーバー」**の設定は、参照する DNS サーバーの情報を /etc/resolv.conf ファイルに記述します。

（※4）**「アクセス許可ホスト」**の設定には「all」、IP アドレス、ネットワークアドレス、ドメイン名を指定可能です。

例）10.1.2.3, 10.1.0.0/16, example.com

（※5）通知メールは、**「7-3 管理者のメールアドレス」（51 ページ）**で決定したメールアドレスへの通知メールを指します。ここで指定するのは、中継先となる外部 SMTP サーバーの IP アドレスです。

(3) 管理サーバー

項目	設定値
通知メール送信先サーバー※	

※通知メールは、「7-3　管理者のメールアドレス」（55 ページ）で決定したメールアドレスへの通知メールを指します。
ここで指定するのは、中継先となる外部 SMTP サーバーの IP アドレスです。

7-5 システムの設定

インストール後、管理 / 検査サーバー共に、「ディレクトリ」と「スケジュール」に関するシステム設定を実施する必要があります。

(1) ディレクトリ

＜管理サーバー＞

管理サーバーに関してのディレクトリ設定は下記表のとおりです。設定作業時までに、下記表の**「設定値」**に値が入るようにご準備ください。

項目	設定値
ウェブログ保存ディレクトリ	
ログ保存期間 / サイズ（単位：MB）	
バックアップデバイス	
バックアップディレクトリ	
リストアディレクトリ	

※ここでは移行に関連する設定項目のみを挙げています。その他のディレクトリ設定に関しては、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～**』の「**3-2-1-1 基本設定**」-【**管理サーバーパラメータ**】(39 **ページ**）及び【**ログ保存設定**】(45 **ページ**）をご参照ください。

① ウェブログ保存ディレクトリ

ウェブ機能の各種ログファイルを保存するディレクトリを指定します。各検査サーバーによって記録されたログファイルを収集したものが、このディレクトリに格納されます。

初期値は、管理 / 検査サーバー同一筐体稼動の場合「/var/opt/Guardian/WG/」に、管理 / 検査サーバー別筐体稼動の場合「/var/opt/Guardian/Admin/web/」に設定されています。

旧システムをご利用のお客様の場合、旧システムでレポートサーバーがログ保存していた領域をご利用いただくか、新たにハードディスクを追加するなどして、保存期間に見合うよう領域を確保してください。

② 保存期間 / サイズ (単位 : MB)

ログ保存の「期間」と「サイズ」を指定することができます。午前 00 時 00 分のタイミングで、ログ保存領域をチェックし、「期間」と「サイズ」のどちらかが指定した値を超えている場合には、古いログから自動削除が行われます。双方とも、「0」を指定した場合は削除を行いません。

ログ保存領域として指定したディレクトリが含まれるパーティションの占有率が 100 % に至った場合、システムが正常に稼動しない場合があります。パーティションに割り当てられたサイズより、少し余裕を持った制限値を設けられることを推奨します。

③ バックアップデバイス

バックアップするためのデバイスを指定します。複数デバイスを指定することもできます。

※バックアップデバイスにテープドライブを指定する場合は、リワインド指定のデバイス名を指定してください。

また、圧縮機能のあるデバイスは指定しないでください（アーカイブデータはすでに圧縮済なのでこれ以上データサイズの圧縮は期待できません)。

④バックアップディレクトリ

WEBGUARDIAN Ver3.0 からは、ウェブログをバックアップするためにディスクを指定することができるようになりました。NAS などの大容量ディスクを NFS などでマウントしている場合、こちらでバックアップ先のディレクトリを指定できます。使用するディレクトリを複数指定することもできます。

⑤ リストアディレクトリ

バックアップした保存データを一時的にリストアし、検索・閲覧するための領域を割り当てたディレクトリを指定します。使用するディレクトリは、複数ディレクトリを指定することもできます。

※必ず、リストア専用で使用する領域を指定してください。

絶対に「/var」「/tmp」などのような OS、他システムが使用する領域やメールアーカイブ保存ディレクトリと同じ領域は指定しないでください。

＜検査サーバー＞

検査サーバーに関してのディレクトリ設定は下記表のとおりです。

設定作業時までに、下記表の「設定値」に値が入るようにご準備ください。

項目	設定値
ウェブログ保存ディレクトリ	
ログ保存期間 / サイズ (単位 : MB)	

① ウェブログ保存ディレクトリ

検査サーバーで各種ログファイルを保存するディレクトリです。初期値は「/var/opt/Guardian/WG」に設定されています。管理 / 検査サーバー同一筐体稼動の場合には、両サーバーで指定するログ保存ディレクトリは、同一としてください。旧システムをご利用のお客様の場合、旧システムでログ保存していた領域をご利用いただくか、新たにハードディスクを追加するなどして、保存期間に見合うよう領域を確保してください。

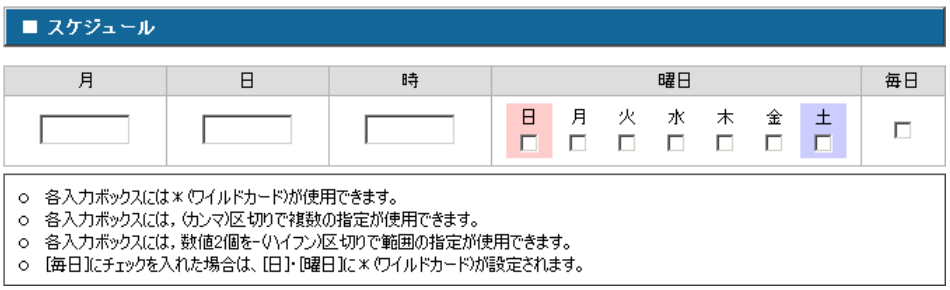
※管理サーバーが複数の検査サーバーを管理し、なおかつその内 1 つの検査サーバーが管理サーバーと同一筐体で稼動する場合、その検査サーバーは管理サーバーと別のウェブログ保存ディレクトリを指定してください。
そして、スケジュール管理によるログ転送処理を行うことで、管理サーバー側で指定しているウェブログ保存ディレクトリ内で、他の検査サーバーから転送されてくるログとマージするようにしてください。

② ログ保存期間 / サイズ (単位 : MB)

ログ保存の「**期間**」と「**サイズ**」を指定することができます。午前 00 時 00 分のタイミングで、ログ保存領域をチェックし、「**期間**」と「**サイズ**」のどちらかが指定した値を超えている場合には、古いログから自動削除が行われます。双方とも、「0」を指定した場合は制限を行いません。
このディレクトリが含まれるパーティションの占有率が 100 % に至った場合、システムが正常に稼動しない場合があります。パーティションに割り当てたサイズより、少し余裕を持った制限値を設けられることを推奨します。

(2) スケジュール

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、スケジュールを設定しておくと、システムが自動で行う処理があります。それらは、月・日・時間・曜日で設定可能であり、最短 1 時間単位でスケジュールを組むことができます。下記は、処理時刻を指定する際の GUI の設定イメージです。



スケジューリングできる処理は、下記表のとおりです。
設定作業時までに、下記表の設定値に値が入るようにご準備ください。

項目	設定値
ウェブキャッシュログ作成（管理サーバー）	
ログ収集（検査サーバー：検査サーバー個別設定）※	
URLDB 更新（検査サーバー：検査サーバー個別設定）	

※管理 / 検査サーバー同一筐体稼動の場合には、ログ収集処理をスケジュールに組み込む必要はありません。
※ここでは移行に関連する項目のみを挙げています。その他のスケジュール可能なサービスに関しては、『**管理サーバー　利用の手引き　～　*GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～**』の「**3-2-1-3　拡張機能**」-【**スケジューラー**】（**54 ページ**）をご参照ください。

この中で、
- ログ収集（管理サーバー／検査サーバー）
- URLDB 更新（検査サーバー）

に関しては、処理の仕組み上 OS のリソースを多く消費します。また、表以外ではスケジューラーのバックアップサービスに関しても OS のリソースを多く消費します。できるだけ、プロキシーとしての動作が負担の少ない時間を選び、かつそれぞれの処理を別のタイミングで実施するようスケジュールを組むことを推奨します。
ログ収集の処理は、1 日の中でログ内容に更新があった場合、毎回該当日のログを全て収集します。そのため、1 日の中で、ログ収集を重ねるごとにリソース消費は大きくなっていきます。したがって、どうしても同時処理を避けることができない場合、URLDB 更新とバックアップの処理は、なるべく午前 1 時を過ぎてから実施されることをお勧めします。

8 インストール・設定

8-1 インストール

「7-1 サーバー構成プラン」(50 ページ) で策定した構成に基づき、管理 / 検査サーバーのインストールを実施してください。その時、管理者メールアドレスの入力を求められます。「7-3 管理者のメールアドレス」(51 ページ) で決定したメールアドレスの通知先を (AdminMailAddress) 入力してください。
インストールの手順は、『管理サーバー 導入の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～』の「2 インストール」(24 ページ) をご参照ください。

8-2 設定

インストール後、*GUARDIANSUITE* 管理画面にログインし、「管理サーバーに検査サーバーを追加する作業」と「管理／検査サーバーにライセンスを登録する作業」が必要です。
これらの作業を実施後、後述する各種設定を実施してください。
「管理サーバーに検査サーバーを追加する作業」の詳細は、『管理サーバー 利用の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」(73 ページ) をご参照ください。
「管理／検査サーバーにライセンスを登録する作業」の詳細は、『管理サーバー 導入の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「4 ライセンス登録」(48 ページ) をご参照ください。
※管理／検査サーバー同一筐体インストールの場合、インストーラにて「3. WG (検査サーバー) V3.7 plus SUITE (管理サーバー) V4.6」を選択された場合には、インストール後の初期状態で検査サーバーは追加されています。

(1) 管理者の設定

管理者の設定は、利用者管理で行います。『管理サーバー 利用の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「6-2-1 利用者管理」(390 ページ) を参照し、「7-2 管理者の役割分担」(50 ページ) で決定した管理者を登録してください。

(2) 管理者のメールアドレス

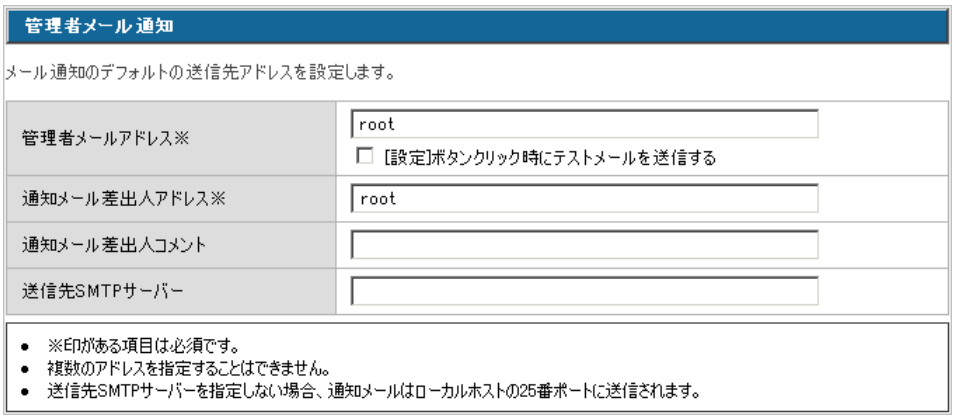
管理者のメールアドレスは、インストール時に登録されていますが、それぞれの項目ごとに別のメールアドレスを登録することも可能です。「7-3 管理者のメールアドレス」(55 ページ) で決定したメールアドレスを、それぞれの項目で設定してください。

① AdminMailAddress

AdminMailAddress は、インストール後、管理画面の【共通】-「管理サーバー管理」-「基本設定」-【管理サーバーパラメータ】の「管理者メールアドレス」に反映されています。

ここで指定されたメールアドレスは、本システムの管理者メールアドレスとして、管理サーバーから送信される全ての通知メール送信アクションのデフォルトとなります。

設定を変更されたい場合には、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIAN-WALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-1 基本設定」-【管理サーバーパラメータ】（39 ページ）をご参照ください。



② 検査サーバー：全検査サーバー共通

設定したルールに該当するリクエストが検出された

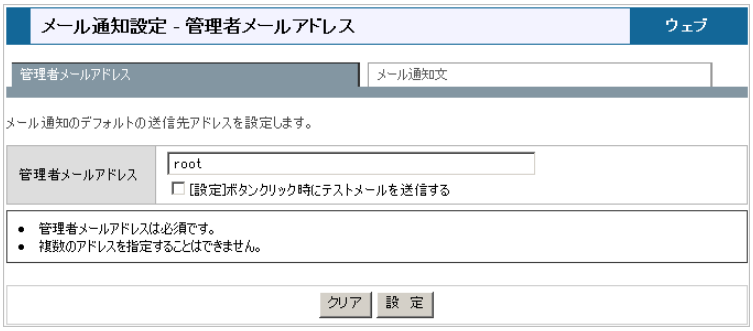
ルールに適合した際に送信される通知メールは、各ルールに紐付きます。管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「規制ルール（例外ルール）」にて、個々のルールを編集する際、「詳細設定」から「メール通知」にチェックを入れると、指定の通知先にメールを送信します。

●管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「規制ルール」の「アクション」指定欄

規制ルール編集の詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-4-1-1　規制ルール」（236 ページ）をご参照ください。

上記画面の「管理者」にあたるのは、管理画面の【ウェブ】-「システム管理」-「メール通知設定」-【管理者メールアドレス】で指定したメールアドレスです。ここで設定している以外の通知先を指定したい場合には、上記画面の「代替管理者」に通知先とするメールアドレスを指定してください。

●【ウェブ】-「システム管理」-「メール通知設定」-【管理者メールアドレス】



【ウェブ】-「システム管理」-「メール通知設定」の設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-4-3-3 メール通知設定」（336 ページ）をご参照ください。

③ 検査サーバー：検査サーバー個別設定

URLDB ダウンロード完了通知

URLDB を最新版に更新するためのダウンロード処理が完了したことを通知するアドレスの設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2　個別設定」-「サーバー種別：「ウェブ」の場合」-【URLDB】(88 ページ) をご参照ください。

④ 管理サーバー

ウェブキャッシュログ作成通知

管理サーバーに集約されたログと POST イメージファイルからキャッシュログを作成します。作成処理の完了通知メールの設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-3 拡張機能」(54 ページ) をご参照ください。

(3) ネットワークの設定

それぞれのサーバーを機能させるために、「7-4　ネットワークの設定」(53 ページ) で策定した内容を GUI から設定してください。

① 検査サーバー：全検査サーバー共通

プロキシー認証設定

- プロキシー認証の実施
- 参照 LDAP サーバーの IP アドレスとポート番号
- バインド DN
- バインドパスワード
- 検索ベース DN
- 検索オブジェクトクラス
- 認証名属性
- Windows ドメイン名
- プライマリドメインコントローラ
- バックアップドメインコントローラ

上記 10 項目の設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「5-4-1-2 ユーザー認証設定」(379 ページ) をご参照ください。

② 検査サーバー : 検査サーバー個別設定

- プロキシーとしてのポート番号
- 親プロキシーサーバー
- フォワード対象外ホスト指定
- アクセス許可ホスト

上記 4 項目の設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」-「サーバー種別 :「ウェブ」の場合」-【プロキシー設定】（81 ページ）をご参照ください。

- DNS サーバー

マシンの /etc/resolv.conf ファイルに下記例のように参照する DNS サーバーとドメイン名を記述してください。

```
# cat    /etc/resolv.conf
domain              example.co.jp
nameserver          10.10.1.2
```

- 通知メール送信先サーバー

検査サーバーが利用する中継先 SMTP サーバーの設定方法詳細は、『管理サーバー 利用の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」-「サーバー種別 :「メール」の場合」-【メール送信】（77 ページ）をご参照ください。

③ 管理サーバー

- 通知メール送信先サーバー

管理サーバーが利用する中継先 SMTP サーバーの設定方法詳細は、『管理サーバー 利用の手引き ～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-1 基本設定」-【管理サーバーパラメータ】（39 ページ）をご参照ください。

(4) システムの設定

① ディレクトリ

管理サーバー

- ウェブログ保存ディレクトリ

  設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-1 基本設定」-【管理サーバーパラメータ】(39 ページ) をご参照ください。

- ログ保存期間 / サイズ (単位 : MB)

  設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-1 基本設定」-【ログ保存設定】(45 ページ) をご参照ください。

- バックアップデバイス
- バックアップディレクトリ
- リストアディレクトリ

  上記 3 項目に関する設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-1 基本設定」-【管理サーバーパラメータ】(39 ページ) をご参照ください。

検査サーバー

- ウェブログ保存ディレクトリ

  設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」-「サーバー種別:「ウェブ」の場合」-【その他】(90 ページ) をご参照ください。

- ログ保存期間 / サイズ (単位 :MB)

  設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEB-GUARDIAN* 共通～』の「3-4-3-1 基本設定」-【ログ管理】(322 ページ) をご参照ください。

② スケジュール

ウェブキャッシュログ作成（管理サーバー）

本設定は、【共通】-「管理サーバー管理」-「拡張機能」-【スケジューラー】の「ウェブキャッシュログ」にあたります。設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-1-3 拡張機能」-【スケジューラー】（54 ページ）をご参照ください。

ログ収集（検査サーバー：検査サーバー個別設定）

本設定は、【共通】-「検査サーバー管理」-「個別設定」（ウェブ）の【ログ収集スケジュール】にあたります。設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」-「サーバー種別:「ウェブ」の場合」-【ログ収集スケジュール】（80 ページ）をご参照ください。

URLDB 更新（検査サーバー：検査サーバー個別設定）

本設定は、【共通】-「検査サーバー管理」-「個別設定」（ウェブ）の【URLDB】にあたります。設定方法詳細は、『管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～』の「3-2-2-2 個別設定」-「サーバー種別:「ウェブ」の場合」-【URLDB】（88 ページ）をご参照ください。

MEMO

9 ルールの設定（旧 WEBGUARDIAN をご利用のお客様へ）

9-1 WEBGUARDIAN Ver3.7 でのルール記述

旧 WEBGUARDIAN のルールを WEBGUARDIAN Ver3.7 で実現する方法をご説明する前に、簡単に WEBGUARDIAN Ver3.7 でのポリシー管理の概要を説明します。

※こちらでは、あくまで概要までのご説明です。詳細は、『**検査サーバー　利用の手引き ～ WEBGUARDIAN V3.7 編（ウェブ）～**』の「**3 ポリシー管理機能**」（**34 ページ**）をご参照ください。

(1) 応答アクション

ポリシーは、規制ルールのリストとして管理します。上位行より条件判断を行い、最初に条件が一致した行の「アクション」を適応します。

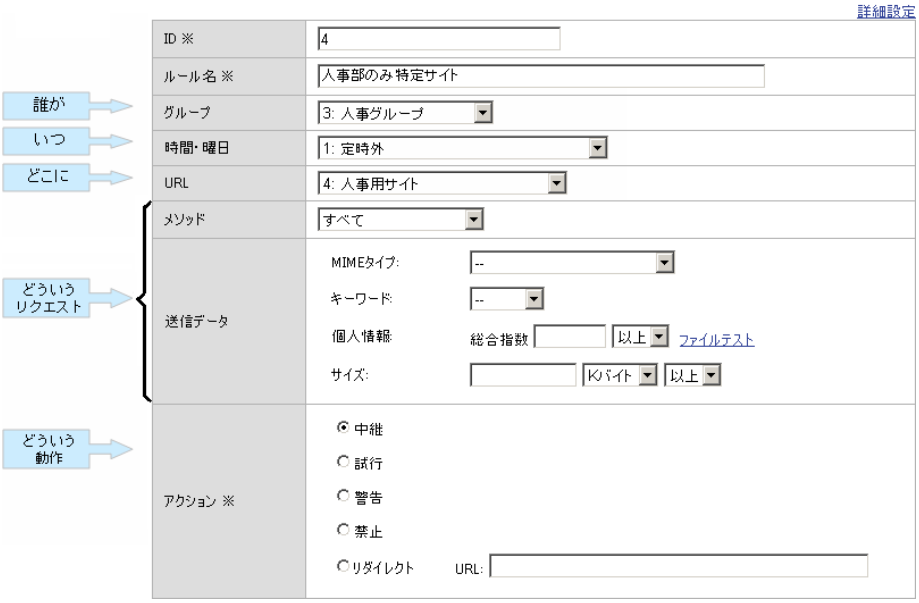
行	ID	ルール名	アクション	操作
1	1	人事部のみ特定サイト許可	中継	編集 移動
2	2	添付ファイル送信	試行	編集 移動
3	3	開発部での機密用語	警告	編集 移動
4	4	アダルトサイト禁止	禁止	編集 移動
5	5	オークションサイト	リダイレクト	編集 移動

アクションの種類は下記のとおりです。

中継	通信内容を規制ログに記録して中継する。
試行	通信内容を規制ログに記録して中継する。
警告	一定時間おきに警告画面を表示する。規制ログに記録あり。
オーバーライド	オーバーライドコードを入力すると、一定時間通信を中継する。規制ログに記録あり。
禁止	通信を完全にブロックして禁止画面を表示する。規制ログに記録あり。
リダイレクト	指定した URL へのリダイレクト命令を応答する。規制ログに記録あり。

(2) 規制ルール

個々の規制ルールは、「検査対象データの各条件」と「アクション」の組合せでリスト化されます。



(3) リクエスト特定条件

「誰が」「いつ」「どこに」「どういうリクエスト」に対応する条件は、下記のようになります。

① ユーザー（誰が）

「プロキシー認証名」「IP アドレス（ネットマスク指定）」「UserAgent 名」の論理積でリクエストを特定します。管理画面の**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「ユーザーグループ」**で設定したユーザーグループ条件セットを規制ルールに反映してポリシーを作成します。

② 時間・曜日（いつ）

日～土曜日までを 0 ～ 23 時の 1 時間単位で指定して、リクエスト時刻を特定します。管理画面の**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「時間・曜日」**で設定した時間・曜日条件セットを規制ルールに反映してポリシーを作成します。

③ URL（どこに）

複数の URL パターンを直接指定してリスト化して指定する**「URL リスト」**と、**「URLDB カテゴリ」**、そして**「IP アドレス URL」**の論理和でリクエストを特定します。
管理画面の**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**で設定した URL グループ条件セットを規制ルールに反映してポリシーを作成します。

④ メソッド (どういうリクエストをした時)

「HTTP リクエストメソッド」にてリクエストを特定します。
管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「規制ルール」の「メソッド」で直接設定します。

⑤ MIME タイプ (どういうリクエストをした時)

送信データメッセージボディの MIME タイプを、リクエスト特定条件とします。
管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「MIME タイプ」で設定した MIME タイプ条件セットを規制ルールに反映してポリシーを作成します。

⑥ キーワード (どういうリクエストをした時)

メッセージボディ部・URL クエリー部に含まれるキーワードをリクエスト特定条件とします。管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「キーワード」で設定したキーワード条件セットを規制ルールに反映してポリシーを作成します。

⑦ 個人情報 (どういうリクエストをした時)

送信される添付ファイルに、氏名、住所、電話番号など個人を特定する情報の組合せが含まれるかどうかをリクエスト特定条件とします。
管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「規制ルール」の「個人情報」で、総合指数値（0 ～ 100）を直接設定します。

⑧ サイズ (どういうリクエストをした時)

送信データのサイズ範囲をリクエスト特定条件とします。
管理画面の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「規制ルール」の「サイズ」で直接設定します。

9-2 旧 *WEBGUARDIAN* のルールを Ver3.7 に適合するには

旧 *WEBGUARDIAN* では、「ポリシー設定者」が、**「ポリシー設定」－「URL グループ」**、**「ポリシー設定」－「キーワード検査条件」**、**「ポリシー設定」－「監視制御」**の組合せでルールを作成します。そのルールと類似の動作を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 にさせる設定を以下に記述します。

(1) ポリシー設定 － URL グループ

旧 *WEBGUARDIAN* で作成していた**「ポリシー設定」－「URL グループ」**の内容は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 で**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**にて作成します。

WEBGUARDIAN Ver 3.7 では、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**編集画面の**「URL リスト」**に、URL を直接指定して、リスト化します。こうして URL グループ条件セットを作成し、複数の URL グループ条件セットのオブジェクトとして登録します。

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、ワイルドカード（＊：アスタリスク）を用いた前方一致・中間一致・後方一致による記述が可能です。

また、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、旧 *WEBGUARDIAN* で指定していた「属性名」を指定せずとも、ログには入力フィールドの属性を反映した形で出力されます。

●旧 *WEBGUARDIAN*「ポリシー設定」－「URL グループ」

行	グループ名	URL	属性
1	entertainment	http://movie.yaahoo.co.jp	
2	entertainment	http://www.eigalife.com/cgi-bin/big.cgi	p
3	rival info	http://rival-b.company.co.jp	q
4	rival info	http://rival-a.company.co.jp	
5	WebMail	http://pv1fd.pav1.hotmail.msn.com/cgi-bin/sbox	
6	WebMail	http://urs.excite.co.jp/urs/mps/loginreq	
7	WebMail	http://edit.yahoo.co.jp/config/login	
8	WebMail	http://login.mail.goo.ne.jp/certify-cgi/login.cgi	
9	WebMail	http://jmail.co.jp/cgi-bin/24e.cgi	
10	WebMail	http://be2-mail.eudoramail.lycos.com/login.notfemail	

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」

「URL グループ」一覧

ID	グループ名	操作
1	ウェブメール (ビルトイン)	編集
2	entertainment	編集
3	rival_info	編集

「URL グループ」編集

※このエントリーは[システム管理]-[サービス設定]-[ウェブメール]の設定から自動的に作成されるため編集できません。

ID	1
グループ名 ※	ウェブメール
URLリスト	http://*.mail.yahoo.co.jp/ym/Compose http://*.mail.yahoo.co.jp/ym/Attachments http://*.hotmail.msn.com/cgi-bin/premail* http://*.hotmail.msn.com/cgi-bin/doattach http://*.hotmail.msn.com/cgi-bin/AttachPhoto http://*.mail.goo.ne.jp/goomail/index.ghtml http://mail.excite.co.jp/top http://email.www.infoseek.co.jp/sendmessage.php http://*.livedoor.com/cgi-bin/ldoor/dnet/xmail.cgi http://mail.google.com/mail/
カテゴリ	
IPアドレスURL	☐グループに含める ☐プライベートアドレスのみ

※「ウェブメール」の URL グループ条件セットは、あらかじめシステムに登録されており、削除することはできません。

ID ※	2
グループ名 ※	entertainment
URLリスト	http 追加 修正 削除 http://www.eigalife.com/cgi-bin/big.cgi http://movies.yaahoo.co.jp
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	☐ グループに含める ☐ プライベートアドレスのみ

ID	3
グループ名 ※	rival_info
URLリスト	http rival*.company.co.jp 追加 修正 削除 http://rival*.company.co.jp
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	☐ グループに含める ☐ プライベートアドレスのみ

(2) ポリシー設定 – キーワード検査条件

旧 *WEBGUARDIAN* で作成していたキーワード検査条件は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 で【ウェブ】–「ポリシー設定」–「キーワード」にて作成します。

● 旧 *WEBGUARDIAN*「ポリシー設定」–「キーワード検査条件」

行	状態	キーワード式
1	本番中	機密情報漏洩 &（防止	監視）
2	本番中	（外秘	シークレット）&（重要	契約	発注）
3	本番中	社外秘
4	本番中	パスワード管理表
5	本番中	hoge@
6	本番中	（援助交際	援交	円光）&（女子	出会い	募集）
7	本番中	逝ってよし	名無しさん	氏ね	詩ね |市ね	厨房	DQN	ドキュソ	ドキュン
8	試行中	食職限り
9	試行中	自殺 & 方法
10	試行中	（売り	買い）&（セーラー服	使用済み）
11	試行中	（売り	買い	交換）& カード
12	試行中	（彼氏	彼女）& 募集

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】–「ポリシー設定」–「キーワード」一覧

ID	セット名	操作
1	本番中	編集
2	試行中	編集

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】–「ポリシー設定」–「キーワード」編集

ID	1
セット名 ※	本番中
キーワード式 ※	追加 修正 削除 機密情報漏洩 &（防止	監視） （外秘	シークレット）&（重要	契約	発注） 社外秘 パスワード管理表 hoge@ （援助交際	援交	円光）&（女子	出会い	募集） 逝ってよし	名無しさん	氏ね	詩ね |市ね	厨房	DQN	ドキュソ	ドキュン

ID	1
セット名 ※	本番中
キーワード式 ※	追加 修正 削除 機密情報漏洩 &（防水	監視） （外秘	シークレット）&（重要	契約	発注） 社外秘 パスワード管理表 hoge@ （援助交際	援交	円光）&（女子	出会い	募集） 逝ってよし	名無しさん	氏ね	詩ね	市ね	厨房	DQN	ドキュソ	ドキュン

論理式を用いたキーワードの表記法に関しては、旧 *WEBGUARDIAN* と同様の表記に加え、**「“」**でキーワードを囲む表記法（フレーズキーワード）が追加されています。そのため、旧 *WEBGUARDIAN* でキーワードに**「“」**が含まれる場合、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では**「“」**を**「¥”」**と表記してください。
旧 *WEBGUARDIAN* では、キーワード検査可能なデータタイプはプレーンテキストのみでした。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、PDF、MS ワード、MS エクセル、MS パワーポイント、一太郎といったアプリケーションにも対応しました。
旧 *WEBGUARDIAN* では、キーワード検査条件 1 行ずつに「本番中」「試行中」のアクションを定義していましたが、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、**「キーワード」**の条件のみを定義し、アクションは**規制ルール**にて定義します。
旧 *WEBGUARDIAN* では、キーワード検査条件をグループ化することはできませんでした。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、キーワード条件セットとしてグループ化することができます。旧 *WEBGUARDIAN* の条件を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 に当てはめるには、**「本番中」「試行中」**で、キーワード条件セットを分けて登録すると便利です。

(3) ポリシー設定 – 監視制御

WEBGUARDIAN Ver3.7 で、旧 *WEBGUARDIAN* に近い監視制御を実施することは可能です。ただし、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 は、全てのリクエストを**「アクセスログ」**に保存します。そして、**規制ルール**でどのアクションを指定しても、外部送信情報は全て**「外部送信ログ」**に保存されます。さらに、**規制ルール**に適合した場合には、**「規制ログ」**に記録されます。
「モード」の指定でログに記録するか否かを選択する旧 *WEBGUARDIAN* とは、記録方法が異なります。

行	モード	タイプ	パラメータ
1	監視なし，送信停止	プライベート・アドレス	-
2	監視なし，送信停止	任意のドメイン	.example.co.jp
3	監視なし，すべて保存	URLグループ	SearchEngine
4	監視なし，ログなし	URLグループ	FreeMail
5	監視あり，すべて保存	すべてのIP，ドメイン	-

① モード

モード	旧 *WEBGUARDIAN* での動作	Ver3.7 での類似動作
監視あり、 すべて保存 (Check & Save)	外部送信情報についてキーワードによる監視を行い、かつ全ての外部送信情報をログに保存します。	「**キーワード検査条件**」の「**状態**」である、「**本番中**」「**試行中**」。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 において、「**本番中**」は「**禁止**」「**試行中**」は「**試行**」のアクションに相当します。したがって、「**監視あり**」を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 にあてはめる場合、規制ルールの「**禁止**」と「**試行**」のアクションを組み合わせます。 *WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、「**アクション**」に関わらず、全ての外部送信情報を「**外部送信ログ**」に記録します。
監視あり、 機密漏洩時のみ ログ保存 (Leak)	外部送信情報についてキーワードによる監視を行い、キーワードを検出した場合のみ外部送信情報をログに保存します。	「**監視あり**」を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 に当てはめた場合、規制ルールの「**禁止**」と「**試行**」のアクションを組み合わせます。規制ルールに適合したリクエストは「規制ログ」に記録・保存されます。
監視なし、 すべて保存 (Save)	外部送信情報についてキーワード監視を行わず、全ての外部送信情報をログに保存します。	特別な指定をすることなく全ての外部送信情報を「**外部送信ログ**」に記録しています。したがって、「Save」アクションは、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では設定する必要がありません。
監視なし、 送信停止 (Stop)	外部送信情報についてキーワードによる監視を行わず、WWW サーバーへの外部送信情報の転送を中断します。ログには保存しません。	規制ルールで「**外部送信リクエスト**」（メソッド: POST/PUT/WebDAV）という条件で「**禁止**」アクションを定義することができます。ただし、その定義に該当するリクエストは「**規制ログ**」に記録されます。
監視なし、 ログなし (None)	外部送信情報についてキーワードによる監視を行わず、ログへの保存も行いません。	規制ルールで「**中継**」アクションを定義すれば、リクエストに対して制限を行いません。ただし、外部送信リクエストであれば「**中継**」アクションであっても「**外部送信ログ**」に記録が残ります。

② タイプ

モード	旧 *WEBGUARDIAN* での動作	Ver3.7 での類似動作
プライベート・アドレス (PRIVATE_ADDRESS)	接続先の IP アドレスが、10.0.0.0/8 172.168.0.0/16 192.168.0.0/24 のアドレス空間なら真となります。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」の「IP アドレス URL」で「プライベートアドレスのみ」を選択することで、「URL グループ」条件セットを定義します。その「URL グループ」条件セットをリクエスト特定条件として規制ルールを作成します。
URL グループ (URLGROUP)	接続先の URL が設定した「ポリシー設定」-「URL グループ」で作成したグループに属する場合（完全一致）、真となります（要パラメータ）。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」で「URL リスト」を作成し、「URL グループ」条件セットを定義します。その「*URL* グループ」条件セットをリクエスト特定条件とした規制ルールを作成します。
任意のホスト (HOST)	接続先の URL にあるホスト（WWW ホストサーバー）がパラメータと完全一致していれば真となります（要パラメータ）。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」で「URL リスト」に特定のホスト（www サーバー）を指定することで「URL グループ」条件セットを定義します。その「URL グループ」条件セットをリクエスト特定条件とした規制ルールを作成します。
任意のドメイン (DOMAIN)	接続先の URL にあるホスト（WWW サーバー）のドメインとパラメータが一致していれば真となります（要パラメータ）。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」で「URL リスト」に特定のホスト（www サーバー）のドメインを指定することで「URL グループ」条件セットを定義します（＊：ワイルドカード利用）。その「URL グループ」条件セットをリクエスト特定条件とした規制ルールを作成します。
拡張子 (EXTENSION)	接続先の URL の拡張子に一致していれば、真となります（要パラメータ）。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」で「URL リスト」にワイルドカード（*: アスタリスク）を使って任意の拡張子（http://*/*.exe）を指定することで「URL グループ」条件セットを定義します。その「URL グループ」条件セットをリクエスト特定条件とした規制ルールを作成します。
ユーザー・エージェント (USERAGENT)	接続元クライアントから送信される HTTP ヘッダの User-Agent ヘッダについて、パラメータで指定した文字列が含まれる場合は、真となります（要パラメータ）。	【ウェブ】-「ポリシー設定」-「ユーザーグループ」の「User-Agent」に、任意のユーザ・エージェントを指定することで「ユーザーグループ」条件セットを定義します。その「ユーザーグループ」条件セットを用いて規制ルールを作成することになります。
すべての IP、ドメイン (ALL)	接続元、接続先に関わらず、全てのリクエストに対して真となります。	規制ルールの「URL」入力欄をデフォルトのままにしておけば「全条件」となります。

③ 設定例

旧 *WEBGUARDIAN* の設定

旧 *WEBGUARDIAN* の「URL グループ」「キーワード検査条件」「監視制御」は、下記の設定とします。

●「ポリシー設定」－「URL グループ」

行	グループ名	URL	属性
1	test group	http://test.example.co.jp	-
2	test group	http://test2.sample.com	p
3	test group	http://test3.etcetc.ne.jp/cgi-bin/login.cgi	q

●「ポリシー設定」－「キーワード検査条件」

行	状態	キーワード式
1	本番中	機密情報漏洩 & (防止 | 監視)
2	本番中	(外秘 | シークレット) & (重要 | 契約 | 発注)
3	本番中	社外秘
4	本番中	パスワード管理表
5	本番中	hoge@
6	本番中	(援助交際 | 援交 | 円光) & (女子 | 出会い | 募集)
7	本番中	逝ってよし | 名無しさん | 氏ね | 詩ね | 市ね | 厨房 | DQN | ドキュソ | ドキュン
8	試行中	貴職限り
9	試行中	自殺 & 方法
10	試行中	(売り | 買い) & (セーラー服 | 使用済み)
11	試行中	(売り | 買い | 交換) & カード
12	試行中	(彼氏 | 彼女) & 募集

●「ポリシー設定」－「監視制御」

行	モード	タイプ	パラメータ
1	監視あり，すべて保存	URLグループ	test group

WEBGUARDIAN Ver3.7 での設定

これを *WEBGUARDIAN* Ver3.7 に当てはめると、下記のようになります。

● 【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」

【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」の「URL リスト」に、旧 *WEBGUARDIAN* の「URL グループ」に定義していた URL を指定します。上記の例から「test_group」という URL グループ条件セットを作成します。

● 【ウェブ】－「ポリシー設定」－「キーワード検査条件」

旧 *WEBGUARDIAN* に登録していたキーワード検査条件を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の【ウェブ】－「ポリシー設定」－「キーワード」に登録します。その時、旧 *WEBGUARDIAN* での「本番中」「試行中」を、それぞれ別のキーワード条件セットとして登録します。

ID ※	3
セット名 ※	試行中
キーワード式 ※	追加 修正 削除 食職限り 自殺 & 方法 (売り | 買い) & (セーラー服 | 使用済み) (売り | 買い | 交換) & カード (彼氏 | 彼女) & 募集

ID ※	4
セット名 ※	本番中
キーワード式 ※	追加 修正 削除 機密情報漏洩 & (防止 | 監視) (外秘 | シークレット) & (重要 | 契約 | 発注) 社外秘 パスワード管理表 hoge@ (援助交際 | 援交 | 円光) & (女子 | 出会い | 募集) 逝ってよし	名無しさん	氏ね	詩ね |市ね	厨房	DQN	ドキュン	ドキュン

● 【ウェブ】－「ポリシー設定」－「規制ルール」

規制ルール一覧

行	ID	ルール名	アクション	操作
1	4	「test_group」に「試行中」のキーワード	試行	編集 移動
2	5	「test_group」に「本番中」のキーワード	禁止	編集 移動

規制ルール編集

詳細設定

ID	4
ルール名 ※	「test_group」に「試行中」のキーワード
グループ	--
時間・曜日	--
URL	4: test_group
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ◉ 禁止 ○ リダイレクト URL:

詳細設定

ID	5
ルール名 ※	「test_group」に「本番中」のキーワード
グループ	--
時間・曜日	--
URL	4: test_group
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ◉ 禁止 ○ リダイレクト URL:

MEMO

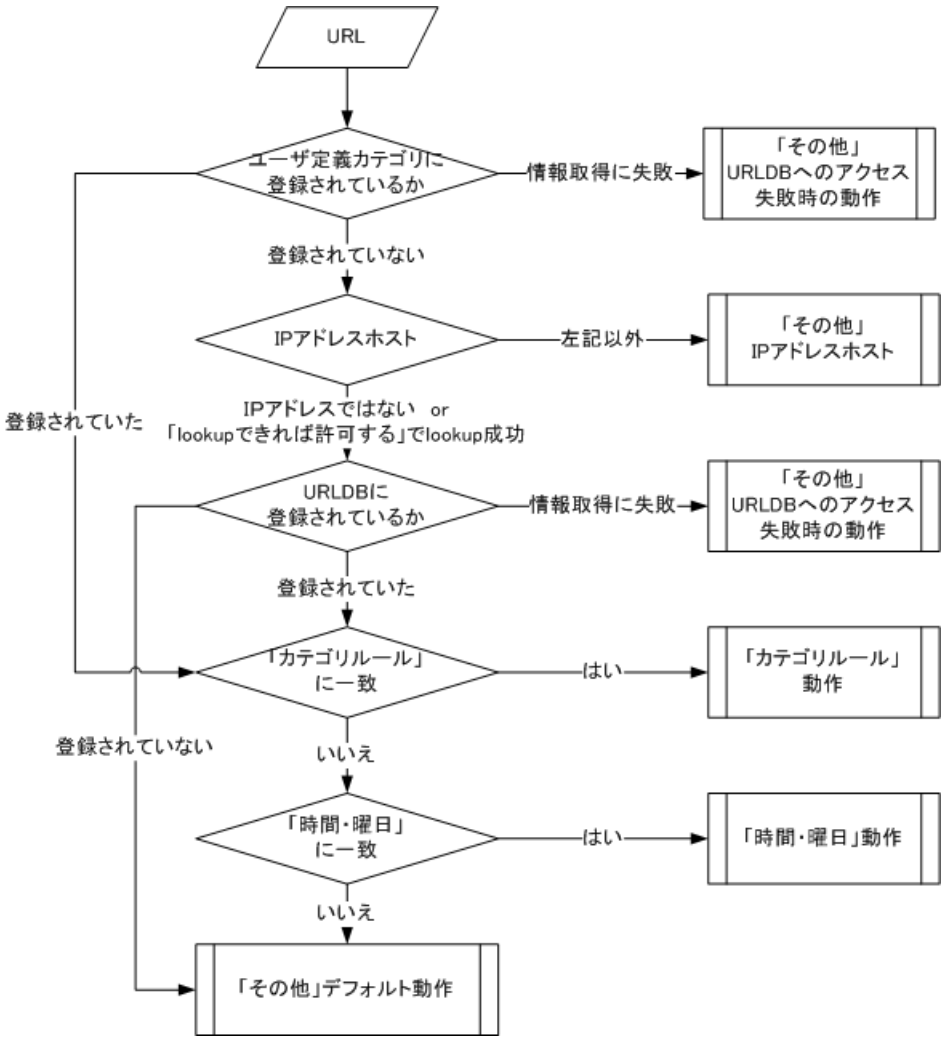
10 ルールの設定（URLGUARDIANをご利用のお客様へ）

10-1 WEBGUARDIAN Ver3.7 でのルール記述

本内容は、「9-1 WEBGUARDIAN Ver3.7 でのルール記述」（72 ページ）をご参照ください。

10-2 URLGUARDIAN のルールを Ver3.7 に適合するには

(1) URLGUARDIAN の制御フロー



上記制御フロー図より、*URLGUARDIAN* には、主に 4 つの制御があることがわかります。

-「**ユーザー定義カテゴリ**」による動作
-「**URLDB カテゴリ**」による動作
-「**時間・曜日**」による動作
-「**その他**」による動作

これらを、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の規制ルールに優先順位を考慮して当てはめる必要があります。それぞれの内容を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 に設定する方法は下記のとおりです。

(2)「ユーザー定義カテゴリ」による動作

URLGUARDIAN では、「**ポリシー設定**」-「**ユーザー定義**」で、「**ユーザー定義**」という大カテゴリに対して「**小カテゴリ名**」を定義して、そこに URL リストを追加していました。

WEBGUARDIAN Ver3.7 には、「**ユーザー定義**」という大カテゴリを作成することはしません。その代わり、【**ウェブ**】-「**ポリシー設定**」-「**URL グループ**」の「**URL リスト**」に、任意の URL を直接指定して URL グループ条件セットを定義します（＊：アスタリスクによる前方・中間・後方一致に対応）。この URL グループ条件セットを、リクエスト特定条件として**規制ルール**を作成することになります。

● *URLGUARDIAN*「ポリシー設定」-「ユーザー定義カテゴリ」

一覧　追加　削除　ログ

登録済みデータの一覧表示です

小カテゴリ名	登録件数	コメント
abc	1	その1
whitelist	5	ホワイトリスト

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」
URL グループ条件セット一覧

2	abc	編集
3	whitelist	編集

URL グループ条件セット編集

ID	2
グループ名 ※	abc
URLリスト	http 追加 修正 削除 http://abc*.co.jp
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	グループに含める プライベートアドレスのみ

ID	3
グループ名 ※	whitelist
URLリスト	http 追加 修正 削除 http://pv1fd.pav1.gotmail.msn.com/cgi-bin/sbox http://www.user-teigi.co.jp/product/tecnology/toolbar/test.htm http://edit.yapoo.co.jp/config/login http://jmail.co.jp/cgi-bin/24e.cgi http://be2-mail.eudoramail.lyco_5s.com/login.notfemail
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	グループに含める プライベートアドレスのみ

(3)「URLDB カテゴリ」による動作

URLGUARDIAN では、「ポリシー設定」－「カテゴリルール」で、任意の URL カテゴリを「カテゴリ」で選択し、それに対する「動作」「適用範囲」を定義していました。

● *URLGUARDIAN* の【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」

追加 編集 削除 移動 Upload Download 登録

データを編集します 変更 クリア

行	カテゴリ	動作	適用範囲
1	すべてのカテゴリ	[1]メソッドブロック 書き込み (POST) ファイル送信 (PUT) ファイル共有 (WebDAV) [2]デフォルト 試行中	すべて
	カテゴリ選択	※メソッドブロック設定が優先されます ※「本番中」はすべてのメソッドブロックを設定することを含みます	適用範囲選択

① カテゴリ選択

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**の**「カテゴリ」**で、任意のカテゴリを指定し、URL グループ条件セットを定義します。その URL グループ条件セットを、リクエスト特定条件として**規制ルール**を作成します。

② 動作

メソッドブロック

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、規制ルールの**「メソッド」**条件にて指定します。

デフォルト

「デフォルト」で定義するアクションは、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、それぞれ下記のアクションに対応しています。

<*URLGUARDIAN*>		<*WEBGUARDIAN* Ver3.7>
・本番中	→	禁止
・試行中	→	試行
・適応なし	→	中継

※**「本番中」**と指定しても**「その他設定」**で、**「アクセス禁止時の動作」**に**「リダイレクト」**を指定している場合には、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 ではリダイレクトアクションに相当します。

ただし、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の規制ルールで「URL」と「メソッド」条件を同時に指定すると、2 つが and 条件で結ばれます。*URLGUARDIAN* では、「デフォルト」が「試行中」「適応なし」の場合、制御の優先順位は「メソッドブロック」となり、「本番中」の場合は「デフォルト」になります。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 で同じ動作をさせる場合には下記例のように複数行の規制ルールを記述する必要があります。

デフォルト	*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の規制ルール
本番中	1 行目「URL」条件に任意のカテゴリを選択＋「メソッド」条件は指定しない →「禁止」
試行中	1 行目「URL」条件に任意のカテゴリを選択＋「メソッド」条件を指定 →「禁止」
	2 行目「URL」条件に任意のカテゴリを選択＋「メソッド」条件は指定しない →「試行」
適応なし	1 行目「URL」条件に任意のカテゴリを選択＋「メソッド」条件を指定 →「禁止」
	2 行目「URL」条件に任意のカテゴリを選択＋「メソッド」条件は指定しない →「中継」

③ 適用範囲

適応条件	旧 *WEBGUARDIAN* での意味	Ver3.7 での類似設定
すべて	全てのクライアント	規制ルールで「ユーザー」条件をデフォルトとすれば「すべて」に相当します。
IP アドレス 認証名	クライアントの「IP アドレス」かプロキシー認証を実施している場合はその「認証名」	【ウェブ】－「ポリシー設定」－「ユーザーグループ」の「IP アドレス ネットワークアドレス」または「認証名」に条件としたい値を指定し、「ユーザーグループ」条件セットを定義します。その条件セットをリクエスト特定条件として「規制ルール」を作成します。
グループ	「グループ管理」で作成したグループ	【ウェブ】－「ポリシー設定」－「ユーザーグループ」の「IP アドレス ネットワークアドレス」または「認証名」にグループとする値をリストアップして「ユーザーグループ」条件セットを定義します。この「ユーザーグループ」条件セットをリクエスト特定条件として、「規制ルール」を作成することになります。

④ 設定例

URLGUARDIAN での「グループ管理」「カテゴリルール」は、下記の設定とします。

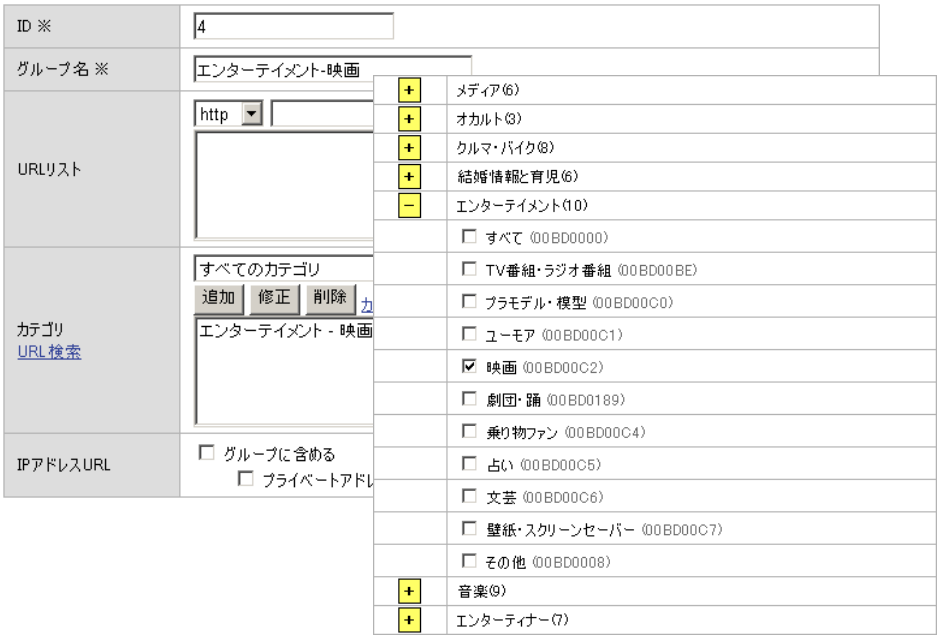
● *URLGUARDIAN* の「ポリシー設定」－「グループ管理」

● *URLGUARDIAN* の「ポリシー設定」－「グループ管理」

これを、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 に当てはめると、下記のようになります。

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】-「ポリシー設定」-「ユーザーグループ」

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】-「ポリシー設定」-「URL グループ」



● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「規制ルール」

「カテゴリ」条件に「POST」メソッドを利用した場合に「メソッドブロック」を実施するルールと、「カテゴリ」条件に「POST」メソッド以外のリクエストを実施した時に「試行」アクションを実施する 2 つの規制ルールにより、*URL-GUARDIAN* の動作を実現します。

－規制ルール一覧

4	4	カテゴリルールの動作をWEBGUARDIAN v3で実現するには①	禁止	編集 移動
5	5	カテゴリルールの動作をWEBGUARDIAN v3で実現するには②	試行	編集 移動

－規制ルール編集

詳細設定

ID	4
ルール名 ※	カテゴリルールの動作をWEBGUARDIAN v3で実現するには①
グループ	3: 開発部
時間・曜日	--
URL	4: エンターテイメント - 映画
メソッド	POST
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ◉ 禁止 ○ リダイレクト URL:

詳細設定

ID	5
ルール名 ※	カテゴリルールの動作をWEBGUARDIAN v3で実現するには②
グループ	3: 開発部
時間・曜日	--
URL	4: エンターテイメント - 映画
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ◉ 試行 ○ 警告 ○ 禁止 ○ リダイレクト URL:

(4)「時間・曜日」による動作

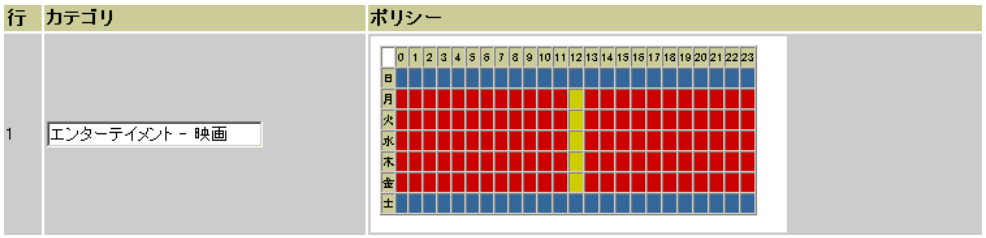
URLGUARDIAN では、**「ポリシー設定」－「時間・曜日」**にて、**時間・曜日**の画面で色分けすることで**「本番中」「試行中」「適用なし」**を指定していました。これらのアクションは、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では下記に相当します。

<*URLGUARDIAN*>		<*WEBGUARDIAN* Ver3.7>
・本番中	→	禁止
・試行中	→	試行
・適用なし	→	中継

※**「本番中」**と指定しても**「その他設定」**で、**「アクセス禁止時の動作」**に**「リダイレクト」**を指定している場合には、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では**「リダイレクト」**アクションに相当します。

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「時間･曜日」**で、時間･曜日条件セットを定義し、この条件を用いて規制ルールを作成します。

● *URLGUARDIAN* の「ポリシー設定」－「時間・曜日」



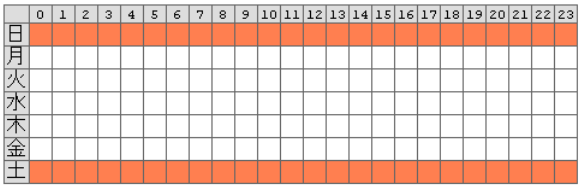
これを *WEBGUARDIAN* Ver3.7 に当てはめると、下記のようになります。

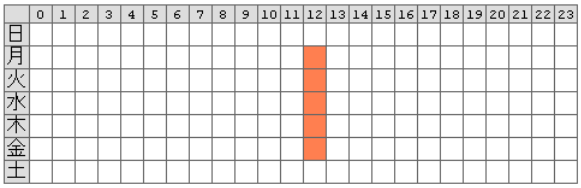
URLGUARDIAN では、1 行の時間・曜日条件で 3 つのアクション全てを表現していました。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、時間・曜日条件セットで時刻の指定を行い、アクションは規制ルールで定義します。つまり、時間・曜日条件セットは、時刻を定義するのみです。したがって、*URLGUARDIAN* の設定で、1 行の時間・曜日条件に 3 つのアクションを定義していた場合、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では、時間・曜日条件セットの定義を 3 つ用意する必要があります。

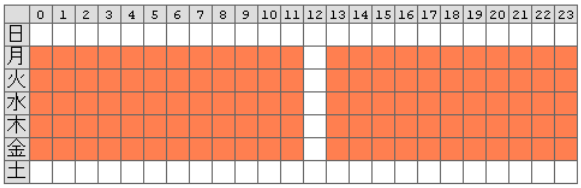
● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「時間・曜日」
－ 時間・曜日一覧

ID	説明	操作
1	[エンターテイメント - 映画]の「適用なし」	編集
2	[エンターテイメント - 映画]の「試行中」	編集
3	[エンターテイメント - 映画]の「本番中」	編集

－ 時間・曜日編集

ID	1
説明 ※	[エンターテイメント - 映画]の「適用なし」
時間範囲 ※	 クリア ■:オン □:オフ

ID	2
説明 ※	[エンターテイメント - 映画]の「試行中」
時間範囲 ※	 クリア ■:オン □:オフ

ID	3
説明 ※	[エンターテイメント - 映画]の「本番中」
時間範囲 ※	 クリア ■:オン □:オフ

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7 【ウェブ】－「ポリシー設定」－「規制ルール」

－ 規制ルール一覧

6	6	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法①	中継	編集 移動
7	7	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法②	試行	編集 移動
8	8	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法③	禁止	編集 移動

－ 規制ルール編集

詳細設定

ID	6
ルール名 ※	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法①
ユーザー	--
時間・曜日	2: [エンターテイメント - 映画]の「適用なし」
URL	--
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	◉ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ○ 禁止 ○ リダイレクト URL:

詳細設定

ID	7
ルール名 ※	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法②
グループ	--
時間・曜日	3: [エンターティメント - 映画]の「試行中」
URL	--
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ◉ 試行 ○ 警告 ○ 禁止 ○ リダイレクト URL:

詳細設定

ID	8
ルール名 ※	「時間・曜日」条件をWEBGUARDIAN v3 で実現する方法③
グループ	--
時間・曜日	4: [エンターテイメント - 映画]の「本番中」
URL	--
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ◉ 禁止 ○ リダイレクト URL:

(5)「その他」による動作

① デフォルト動作

URLGUARDIAN には、いずれのルールにも該当しなかった場合に適用される動作を、**「ポリシー設定」－「その他」**の**「デフォルト動作」**で定義していました。

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、いずれのルールにも該当しなかった場合には、中継されます。

いずれのルールにも該当しなかった場合の動作を定義するには、規制ルールの最終行に *URLGUARDIAN* と同一の動作を行う設定を登録する必要があります。

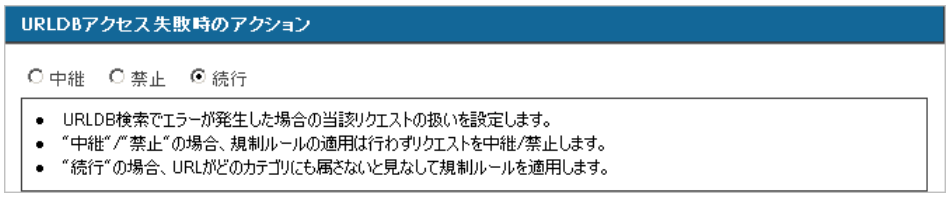
デフォルト動作ごとに下記例のようになります。

デフォルト	*WEBGUARDIAN* Ver3. 7 の規制ルール
本番中	1 行目「URL」条件をデフォルト状態＋「メソッド」条件は指定しない　→「禁止」
試行中	1 行目「URL」条件をデフォルト状態＋「メソッド」条件を指定　→「禁止」 2 行目「URL」条件をデフォルト状態＋「メソッド」条件は指定しない　→「試行」
適用なし	1 行目「URL」条件をデフォルト状態＋「メソッド」条件を指定　→「禁止」 2 行目「URL」条件をデフォルト状態＋「メソッド」条件は指定しない　→「中継」

② URLDB へのアクセス失敗時の動作

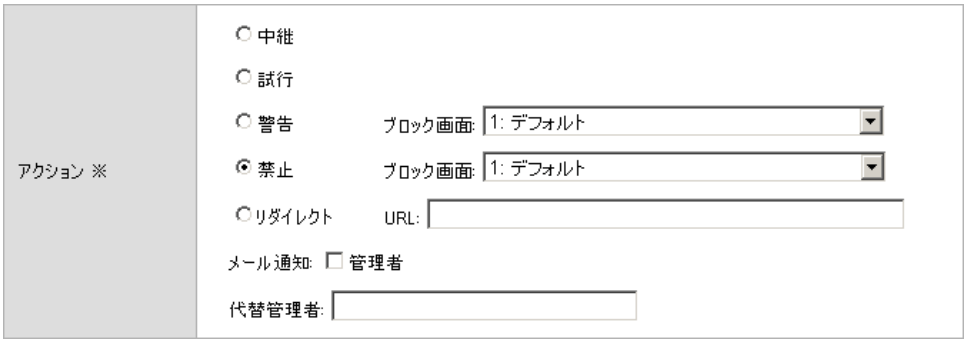
WEBGUARDIAN Ver3.7 では、「URLDB へのアクセス失敗時の動作」は、**【ウェブ】**-**「システム設定」**-**「基本設定」**-**【検査機能】**にて設定します。

機能詳細は、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～**』の「**3-4-3-1　基本設定**」-**【検査機能】**（323 **ページ**）をご参照ください。



③ アクセス禁止時の動作の追加

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、アクセス禁止時の詳細動作は規制ルールの「動作詳細設定」で定義します。詳細は、『**管理サーバー　利用の手引き　～ *GUARDIANWALL*、*WEBGUARDIAN* 共通～**』の「**3-4-1-1　規制ルール**」（236 **ページ**）をご参照ください。



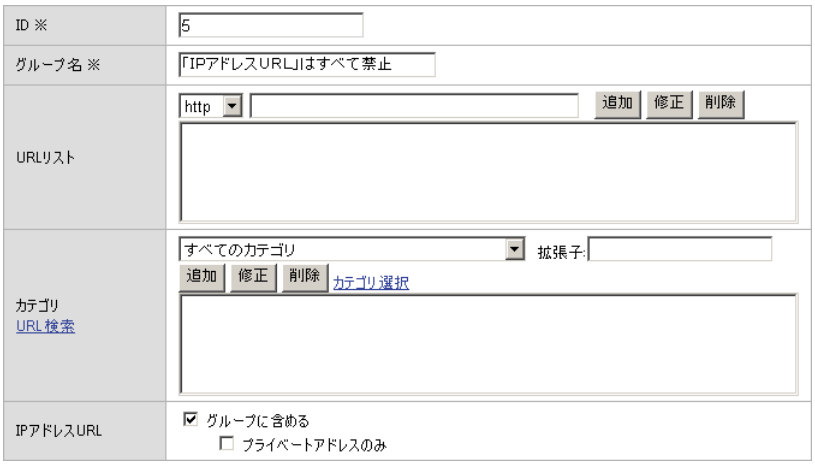
④ IP アドレスホスト

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、**【ウェブ】**-**「システム設定」**-**「基本設定」【検査機能】**の**「IP アドレスアクセス」**と URL グループ条件セットの**「IP アドレス URL」**を組み合わせて設定することになります。

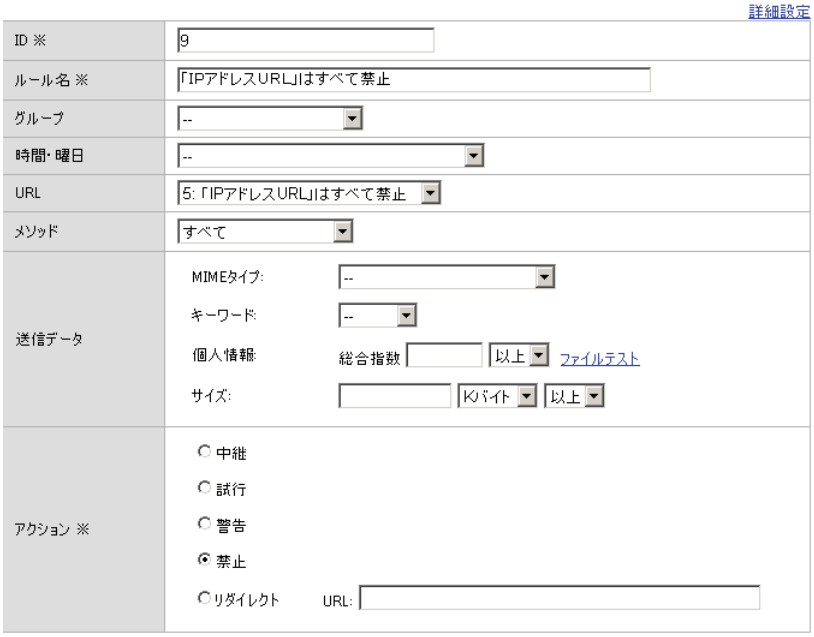
すべて禁止

WEBGUARDIAN Ver3.7 で、**「すべて禁止」**と同じ動作をさせる場合、**【ウェブ】**-**「ポリシー設定」**-**「URL グループ」**の**「IP アドレス URL」**で**「グループに含める」**にチェックを入れて、URL グループ条件セットを作成します。その URL グループ条件セットをリクエスト特定条件として規制ルールを作成します。その規制ルールに下記のような設定を実施します。

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」



● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「規制ルール」



条件許可

プライベートアドレスは許可する

WEBGUARDIAN Ver3.7 で、「プライベートアドレスは許可する」と同じ動作をさせる場合、2 つの規制ルールを作成します。

まず、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**の**「IP アドレス URL」**で**「プライベートアドレスのみ」**にチェックを入れて作成した URL グループ条件セットをリクエスト特定条件として規制ルールを作成します。

そして、その下の行に、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**の**「IP アドレス URL」**で**「グループに含める」**にチェックを入れて作成した URL グループ条件セットをリクエスト特定条件として規制ルールを登録します。

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」
－ URL グループ一覧

5	プライベートアドレスは許可する	編集
6	「IPアドレスURL」はすべて禁止	編集

－ URL グループ編集

ID	5
グループ名 ※	プライベートアドレスは許可する
URLリスト	http 追加 修正 削除
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	☑ グループに含める ☑ プライベートアドレスのみ

ID	6
グループ名 ※	「IPアドレスURL」はすべて禁止
URLリスト	http 追加 修正 削除
カテゴリ URL検索	すべてのカテゴリ 拡張子: 追加 修正 削除 カテゴリ選択
IPアドレスURL	☑ グループに含める ☐ プライベートアドレスのみ

● *WEBGUARDIAN* Ver3.7【ウェブ】－「ポリシー設定」－「規制ルール」

－規制ルール一覧

9	9	プライベートアドレスは許可する	中継	編集 移動
10	10	「IPアドレスURL」はすべて禁止	禁止	編集 移動

－ 規制ルール編集

詳細設定

ID	9
ルール名 ※	プライベートアドレスは許可する
グループ	--
時間・曜日	--
URL	5: プライベートアドレスは許可する
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	◉ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ○ 禁止 ○ リダイレクト URL:

詳細設定

ID	10
ルール名 ※	「IPアドレスURL」はすべて禁止
グループ	--
時間・曜日	--
URL	6: 「IPアドレスURL」はすべて禁止
メソッド	すべて
送信データ	MIMEタイプ: -- キーワード: -- 個人情報: 総合指数 以上 ファイルテスト サイズ: Kバイト 以上
アクション ※	○ 中継 ○ 試行 ○ 警告 ◉ 禁止 ○ リダイレクト URL:

lookup できれば許可する

WEBGUARDIAN Ver3.7 で、「lookup できれば許可する」と同じ動作をさせる場合、**【ウェブ】－「システム設定」－「基本設定」【検査機能】**の**「IP アドレスアクセス」**で**「URL の IP アドレスを逆引きしてルールを適用する」**を選択し、さらに**「逆引き不可の場合、禁止する」**にチェックを入れます。
ただし、*URLGUARDIAN* では逆引きした URL に対してのみ制御が行われるのに対して、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 では元の URL と逆引きした URL の両方に対して規制ルールが適用されるという違いがあります。

すべて許可

WEBGUARDIAN Ver3.7 で、**「すべて許可」**と同じ動作をさせる場合、**【ウェブ】－「ポリシー設定」－「URL グループ」**の**「IP アドレス URL」**で**「グループに含める」**にチェックを入れて、URL グループ条件セットを作成します。その URL グループ条件セットをリクエスト特定条件として規制ルールを作成します。その規制ルールのアクションに**「中継」**を指定します。

MEMO

11 ログ閲覧に関して

11-1 旧システムのログ閲覧

WEBGUARDIAN Ver3.0 より、コアエンジンを含むシステムの大きな変更を実施しているため、ログ閲覧に関しても下位互換がありません。旧システムのログを閲覧される場合には、旧レポートサーバーをご利用ください。
※旧バージョンと *GUARDIANSUITE* Ver4.6 は、同一筐体での運用が可能です。

下記の設定を実施されると、*GUARDIANSUITE* 管理画面左のメニューフレームに【ウェブ】-「旧レポートサーバー」のリンクが表示されます。

＜管理サーバーの /opt/Guardian/Admin/etc/admin/admin.conf ファイル＞
[CGI] セクションに以下の設定を追加します。
WGLegacySystemLink=URL[; 説明][,URL[; 説明]]...

```
# vi /opt/Guardian/Admin/etc/admin/admin.conf
```

```
[CGI]
WGLegacySystemLink=http://192.168.0.5:8080/wg/
```

＜管理画面＞

11-2 バージョンアップ時の制約事項

WEBGUARDIAN Ver3.0 より、旧システムから、統計データ閲覧機能の内容が大幅に変更されています。旧システムで提供されていた以下の各種ランキング表示機能は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 には実装されておりません。ご了承ください。

- Web 使用率
- URL ランキング
- ドメイン別一覧
- 大規模ダウンロード
- 業務外アクセス端末

11-3 旧システムの提供情報を *WEBGUARDIAN* Ver3.7 で確認するには

旧システムにてご提供していた下記のログ・統計情報は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 のログや統計情報の検索条件によって、類似の情報を取得することが可能です。

- 外部送信情報
- 検索エンジン入力キー
- キーワード検査結果
- 添付ファイル一覧
- 業務外カテゴリ別一覧

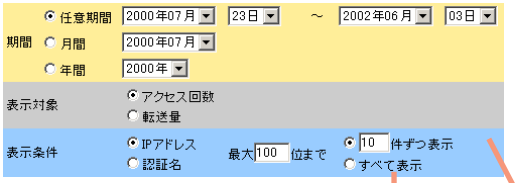
※「業務外カテゴリ別一覧」以外は、旧 *WEBGUARDIAN* にはありますが、*URL-GUARDIAN* にはございません。

(1) 外部送信情報

① 旧システムの場合

指定された期間内で、組織内から組織外に転送されたデータの集計・表示を行います。

＜検索条件＞



＜結果表示：アクセス回数＞

No.	端末IP	アクセス回数
1	10.20.30.125	20,864
2	10.20.30.124	20,163
3	10.20.30.32	17,764
4	10.20.30.117	9,465
5	10.20.30.100	9,040
6	10.20.30.110	6,154
7	10.20.30.90	5,089

時間	端末IP	URL	SIZE	Keyword	本文
2001/07/17 13:11:01	10.20.30.90	http://search.yahoo.co.jp/bin/search?	32	駅前クラブ	p=駅前クラブ
2001/07/17 13:11:07	10.20.30.90	http://google.yahoo.co.jp/bin/query?	42		p=駅前クラブ hc=0 hs=0
2001/07/17 13:15:12	10.20.30.90	http://search.yahoo.co.jp/bin/search?	33	遊廓町 寿司	p=遊廓町 寿司
2001/07/17 13:15:17	10.20.30.90	http://google.yahoo.co.jp/bin/query?	43		p=遊廓町 寿司 hc=0 hs=0

＜結果表示：転送量＞

No.	端末IP	転送量(KB)
1	10.20.30.125	85,845
2	10.20.30.125	85,426
3	10.20.30.100	61,882
4	10.20.30.32	56,827
5	10.20.30.32	56,823
6	10.20.30.32	56,811
7	10.20.30.32	48,967
8	10.20.30.32	48,967

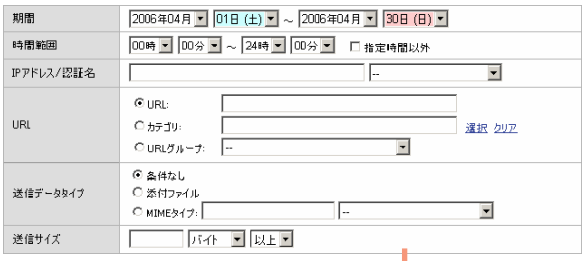
時間	端末IP	URL	SIZE	Keyword	本文
2002/05/17 9:46:01	10.20.30.32	http://www.excite.co.jp/world/text	621		before=私たちはCatalyst6500(48ports)を持っています。そして、VLANを20面作っています。この場合、

② *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の場合

【ウェブ】－「アクセス解析」－「ログ閲覧」－【外部送信ログ】

HTTP メッセージボディを外部に送信したウェブアクセスの一覧を時系列に一覧表示します。

＜検索条件：ログ閲覧 - 外部送信ログ＞



＜結果表示＞

年月日 時刻	IPアドレス 認証名	URL カテゴリ	MIMEタイプ	サイズ	詳細
2006/04/26 13:23:41	192.196.0.10 beer	http://member.sharebeer.com/login/index トラベル - 運輸企業	フォームデータ	138	詳細

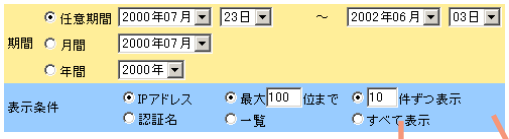
＜結果表示：詳細＞

(2) 検索エンジン入力キー

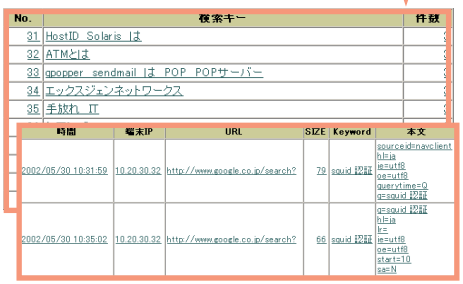
① 旧システムの場合

指定された期間内で検索エンジンサイトに入力されたキーワードを表示します。

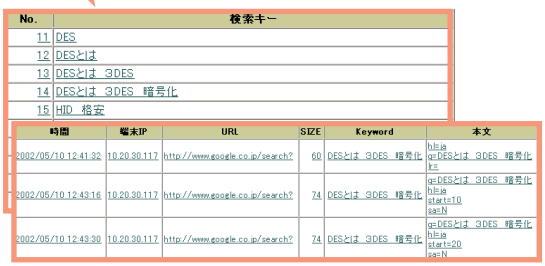
＜検索条件＞



＜結果表示：アクセス回数＞



＜結果表示：転送量＞

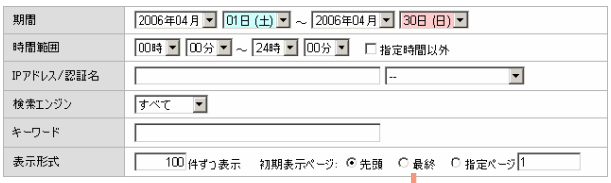


② *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の場合

【ウェブ】－「アクセス解析」－「サービス利用状況」－【検索エンジン】

検索エンジンでキーワード検索を行ったアクセスを時系列に一覧表示します。

＜検索条件：サービス利用状況 - 検索エンジン＞



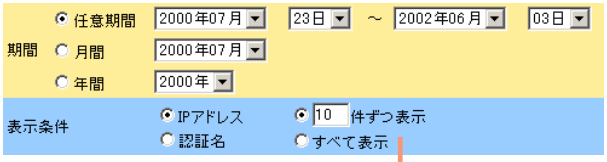
＜結果表示＞

(3) キーワード検査結果

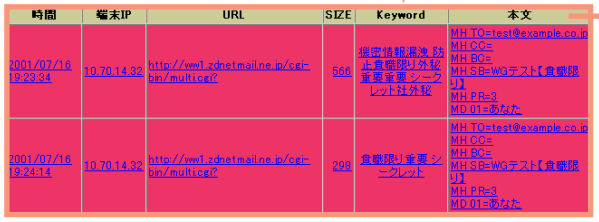
① 旧システムの場合

「ポリシー設定」-「キーワード検査条件」に一致した外部送信情報の閲覧を行います。

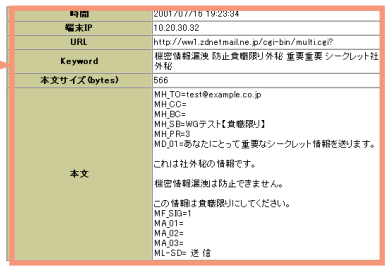
＜検索条件＞



＜結果表示＞



＜転送本文＞

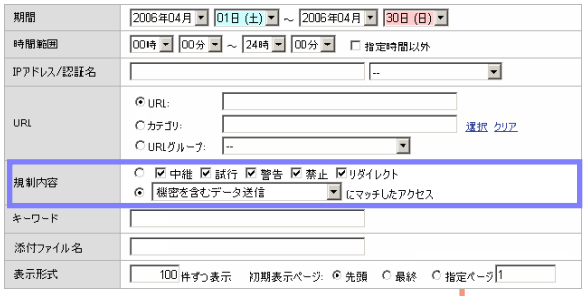


② *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の場合

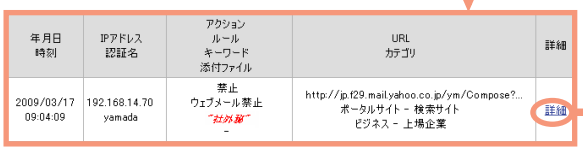
【ウェブ】-「アクセス解析」-「ログ閲覧」-【規制ログ】

「規制ログ」で、「規制内容」にキーワード条件セットをリクエスト特定条件に指定した、規制ルールを条件として検索することで、時系列にキーワード検査に該当したリクエストを一覧表示します。

＜検索条件：ログ閲覧 - 規制ログ＞



＜結果表示＞



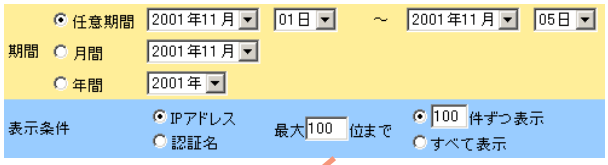
＜結果表示：詳細＞

(4) 添付ファイル一覧

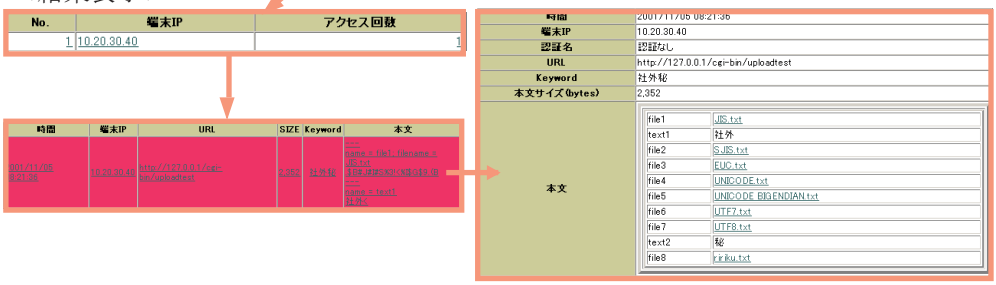
① 旧システムの場合

指定された期間内で、multipart/form-data 形式でファイルをアップロードしたアクセスを表示します。

＜検索条件＞



＜結果表示＞

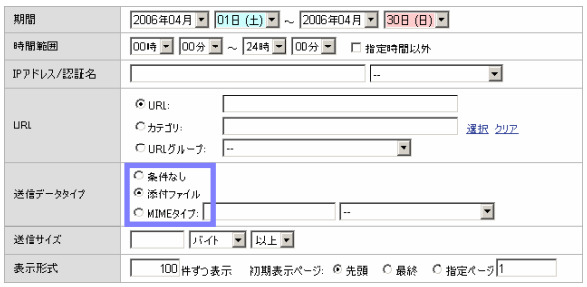


② *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の場合

【ウェブ】－「アクセス解析」－「ログ閲覧」－【外部送信ログ】

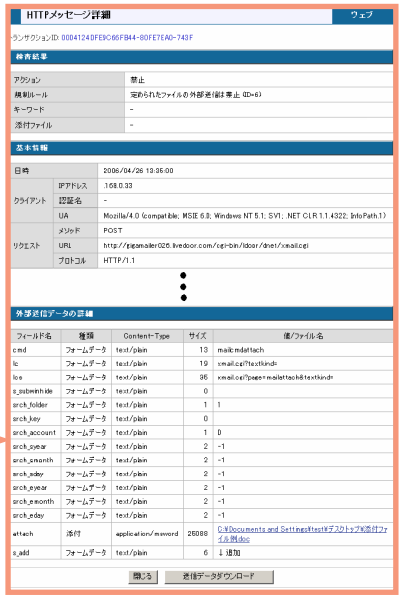
外部送信ログを、「送信データタイプ：添付ファイル」で検索することで、時系列に添付ファイル送信リクエストを表示します。

＜検索条件：ログ閲覧 - 外部送信ログ＞



＜結果表示＞

年月日 時刻	IPアドレス 認証名	URL カテゴリ	MIMEタイプ	サイズ	詳細
2006/04/26 13:35:00	192.168.0.33 -	http://gigamailer026.livedoor.com/cgi-bin/... -	プレーンテキスト Wordファイル[添付]	26K	詳細



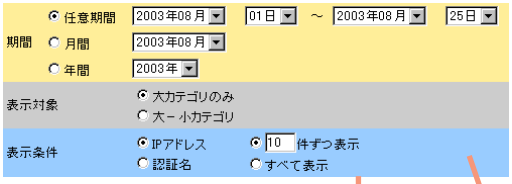
(5) 業務外カテゴリ別一覧

① 旧システムの場合

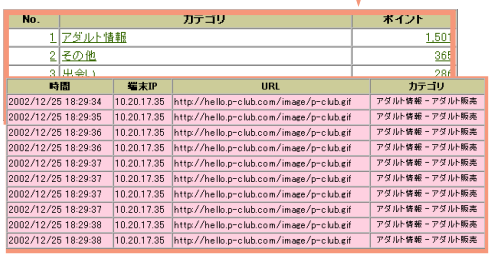
URL フィルターによってフィルタリングされたアクセスについて、カテゴリ別に一覧表示します。

※表示条件は、旧 *WEBGUARDIAN* は「大カテゴリのみ」、*URLGUARDIAN* は「大カテゴリのみ」と「大 - 小カテゴリ」の 2 つです。

＜検索条件＞



＜検索結果：大カテゴリ＞



No.	カテゴリ	ポイント
1	アダルト情報	1,501
2	その他	365
3	出会い	286

時間	端末IP	URL	カテゴリ
2002/12/25 18:29:34	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:35	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:36	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:36	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:38	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売
2002/12/25 18:29:38	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club.gif	アダルト情報－アダルト販売

＜検索結果：小カテゴリ＞

No.	カテゴリ	ポイント
1	アダルト情報－アダルト情報	706
2	アダルト情報－アダルト販売	432
3	出会い－その他	365

時間	端末IP	URL	カテゴリ
2002/12/25 18:29:34	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:35	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:36	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:36	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:37	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:38	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報
2002/12/25 18:29:38	10.20.17.35	http://hello.p-club.com/image/p-club21.gif	アダルト情報－アダルト情報

② *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の場合

【ウェブ】－「アクセス解析」－「統計情報」－【カテゴリ】

「統計情報」－【カテゴリ】で、検索条件に「カテゴリ別規制件数」を選択して実行すると、規制ルールに適合したアクセスについて、カテゴリ別にランキング表示します。表示形式として、大／小カテゴリに加え、大カテゴリ内の小カテゴリ内訳表示が追加されています。

＜検索条件＞

期間	2006年04月 01日 (土) ～ 2006年04月 30日 (日)
時間範囲	00時 00分 ～ 24時 00分 ☐ 指定時間以外
IPアドレス/認証名	--
表示項目	○ カテゴリ別外部送信件数 ◉ カテゴリ別規制件数 ○ カテゴリ別例外ルール適用件数 ○ カテゴリ別SSL通信件数 ○ カテゴリ別アクセス件数
表示オプション	◉ 大カテゴリで集計 ☐ 内訳を表示 ○ 小カテゴリで集計 順位: 50 位まで

＜検索結果：大カテゴリ＞

No.	カテゴリ	回数	割合
1	IT	22935	18.39%
2	上場企業	19661	15.77%
3	ポータルサイト	12802	10.27%
4	一般情報	11833	9.49%
5	グルメ	9615	7.71%

＜検索結果：小カテゴリ＞

No.	カテゴリ	回数	割合
1	上場企業 - 日本市場上場企業	19656	15.76%
2	IT - ソフトメーカ	12111	9.71%
3	グルメ - 飲食店	7836	6.28%
4	一般情報 - ニュース	7296	5.85%
5	ポータルサイト - 検索サイト	5794	4.65%

＜検索結果：大カテゴリ（小カテゴリによる内訳）＞

No.	カテゴリ	回数	割合
1	IT	22935	18.39%
	IT - ソフトメーカ	12111	52.81%
	IT - その他	5322	23.20%
	IT - ハードメーカ	1988	8.67%
	IT - 雑誌	1773	7.73%
	IT - ダウンロードサイト	647	2.82%
	IT - ソフトウェア	578	2.52%
	IT - パソコンショップ	347	1.51%
	IT - 翻訳サイト	168	0.73%
	IT - 独立支援	1	0.00%
2	上場企業	19661	15.77%
	上場企業 - 日本市場上場企業	19656	99.97%
	上場企業 - その他	5	0.03%
3	ポータルサイト	12802	10.27%
	ポータルサイト - 検索サイト	5794	45.26%
	ポータルサイト - ポータルサイト	4382	34.23%

12 その他

12-1 ライセンス

WEBGUARDIAN Ver3.7 では、旧システムで利用していたライセンスキーをそのまま利用することはできません。
WEBGUARDIAN Ver3.7 用のライセンスキーをお持ちでない場合には、検査／管理サーバーの hostid をご確認の上、販売会社までメールにてお知らせください。折り返し、ライセンスキーをお送りします。

12-2 URLDB ライセンス

URLDB 更新用のライセンスとユーザーアカウント / パスワードは、これまでのものを継続して利用することができます。
URLDB ライセンスの有効期限が切れた場合の動作が、これまでとは異なります。これまでは、有効期限が切れるとプロキシーサーバーとしての動作が停止しておりました。
WEBGUARDIAN Ver3.7 の場合、更新処理はできませんが、有効期限が切れるまでに取得していた URLDB を使い続けます。プロキシーサーバーとしての動作も継続します。
管理画面の**【共通】-「検査サーバー管理」-「個別設定」-【ライセンス】**をご確認いただき、ライセンスの有効期限を切らさないように運用していただきますようお願いします。

12-3 *URLGUARDIAN* レポートサーバーのアンインストール

GUARDIANSUITE Ver4.6 と同一筐体上に *URLGUARDIAN* を稼動させている環境で、*URLGUARDIAN* をアンインストールされる場合、*URLGUARDIAN* のインストーラをご利用になりますと、他の SUITE パッケージも一緒にアンインストールされてしまいます。
アンインストールされる際は、*URLGUARDIAN* のインストーラを使用せず、*GUARDIANSUITE* のインストーラでアンインストールを実施してください。

MEMO

Appendix

旧システムと *WEBGUARDIAN* Ver3.7 の管理者を比較した資料です。新しい管理者を策定する際にご参照ください。

① ポリシー設定者

旧システムのポリシー設定者は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 においては「情報管理者」が担当します。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の情報管理者は、ポリシー設定だけでなく全ての機能を利用することができる最高の権限者です。実際の機能一覧は、下記のとおりです。下記の中で、○がついているものがポリシー設定に関する項目です。**「権限有り／--」**あるいは**「閲覧＋更新／閲覧／--」**を選択し、運用にあった管理者を策定してください。

■ 共通 オペレーション権限リスト					
	管理システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	
	データベースサーバー起動・停止	権限有り	--		
	ウェブ検査サーバー設定	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ウェブ検査サーバー起動・停止	権限有り	--		
	データバックアップ・リストア	権限有り	--		
	操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション監査	権限有り	--		
	監査機能設定	閲覧＋更新	閲覧	--	

■ ウェブ オペレーション権限リスト				
規制ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
例外ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
ユーザー定義管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
時間・曜日管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
URL 管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
MIME タイプ管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
キーワード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
ブロック画面管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
オーバーライドコード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
ログ閲覧 － 外部送信ログ	権限有り	--		
ログ閲覧 － 規制ログ	権限有り	--		
ログ閲覧 － 例外ログ	権限有り	--		
ログ閲覧 － SSL ログ	権限有り	--		
ログ閲覧 － アクセスログ	権限有り	--		
ログ閲覧 － 検索キーワード	権限有り	--		
ログ閲覧 － ウェブメール	権限有り	--		
ログ閲覧 － ウェブメール本文	権限有り	--		
ログ閲覧 － メッセンジャー	権限有り	--		
ログ閲覧 － メッセンジャー送信内容	権限有り	--		
ログ閲覧 － ソーシャルウェブ	権限有り	--		
ログ閲覧 － ソーシャルウェブ送信内容	権限有り	--		
ログ閲覧 － アクセス詳細	権限有り	--		
リストアログ閲覧	権限有り	--		
統計情報閲覧	権限有り	--		
システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	

② 運用管理者

旧システムの運用管理者は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 においては「情報管理者」が担当します。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の情報管理者は、ポリシー設定だけでなく全ての機能を利用することができる最高の権限者です。実際の機能一覧は、下記のとおりです。下記の中で、○がついているものが運用管理者に関する項目です。**「権限有り／--」**あるいは**「閲覧 + 更新 / 閲覧 /--」**を選択し、運用にあった管理者を策定してください。

■ 共通 オペレーション権限リスト					
	管理システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	○
	データベースサーバー起動・停止	権限有り	--		
	ウェブ検査サーバー設定	閲覧＋更新	閲覧	--	○
	ウェブ検査サーバー起動・停止	権限有り	--		○
	データバックアップ・リストア	権限有り	--		○
	操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション監査	権限有り	--		
	監査機能設定	閲覧＋更新	閲覧	--	
■ ウェブ オペレーション権限リスト					
	規制ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	例外ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ユーザー定義管理	閲覧＋更新	閲覧	--	○
	時間・曜日管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	URL 管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	MIME タイプ管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	キーワード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ブロック画面管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	オーバーライドコード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ログ閲覧 - 外部送信ログ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - 規制ログ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - 例外ログ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - SSL ログ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - アクセスログ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - 検索キーワード	権限有り	--		
	ログ閲覧 - ウェブメール	権限有り	--		
	ログ閲覧 - ウェブメール本文	権限有り	--		
	ログ閲覧 - メッセンジャー	権限有り	--		
	ログ閲覧 - メッセンジャー送信内容	権限有り	--		
	ログ閲覧 - ソーシャルウェブ	権限有り	--		
	ログ閲覧 - ソーシャルウェブ送信内容	権限有り	--		
	ログ閲覧 - アクセス詳細	権限有り	--		
	リストアログ閲覧	権限有り	--		
	統計情報閲覧	権限有り	--		
	システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	

③ システム管理者

旧バージョンのシステム管理者は、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 においては「情報管理者」が担当します。*WEBGUARDIAN* Ver3.7 の情報管理者は、ポリシー設定だけでなく全ての機能を利用することができる最高の権限者です。実際の機能一覧は、下記のとおりです。下記の中で、○がついているものがシステム管理者に関する項目です。**「権限有り／ --」**あるいは**「閲覧 + 更新／閲覧／ --」**を選択し、運用にあった管理者を策定してください。

■ 共通 オペレーション権限リスト					
	管理システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	○
	データベースサーバー起動・停止	権限有り	--		
	ウェブ検査サーバー設定	閲覧＋更新	閲覧	--	○
	ウェブ検査サーバー起動・停止	権限有り	--		
	データバックアップ・リストア	権限有り	--		
	操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション操作ログ閲覧	権限有り	--		
	トランザクション監査	権限有り	--		
	監査機能設定	閲覧＋更新	閲覧	--	
■ ウェブ オペレーション権限リスト					
	規制ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	例外ルール管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ユーザー定義管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	時間・曜日管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	URL 管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	MIME タイプ管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	キーワード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ブロック画面管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	オーバーライドコード管理	閲覧＋更新	閲覧	--	
	ログ閲覧 - 外部送信ログ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - 規制ログ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - 例外ログ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - SSL ログ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - アクセスログ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - 検索キーワード	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - ウェブメール	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - ウェブメール本文	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - メッセンジャー	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - メッセンジャー送信内容	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - ソーシャルウェブ	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - ソーシャルウェブ送信内容	権限有り	--		△※
	ログ閲覧 - アクセス詳細	権限有り	--		△※
	リストアログ閲覧	権限有り	--		○
	統計情報閲覧	権限有り	--		△※
	システム各種設定	閲覧＋更新	閲覧	--	

※リストアログを閲覧するには、リストアログ閲覧と各閲覧操作の権限が**「権限有り」**であることが必要です。たとえば、リストアされた外部送信ログを閲覧するには**「リストアログ閲覧」**と**「ログ閲覧－外部送信ログ」**の権限が**「権限有り」**である必要があります。旧システムでは、ディスクに保存されているデータを閲覧する管理者は**「データ閲覧者」**、リストアデータを閲覧する管理者は**「システム管理者」**と、管理者が分かれていましたが、*WEBGUARDIAN* Ver3.7 でその運用形態をとることはできません。

MEMO